

大通り公園パークマネジメントプラン

【1～3区版】

2022年11月

横浜市環境創造局公園緑地部

南部公園緑地事務所都心部公園担当

目次

1. パークマネジメントプランについて	1
(1) 背景・目的	1
(2) 策定の進め方	1
(3) 計画期間	1
(4) プラン策定後の展開	1
2. 大通り公園においてパークマネジメントプランを策定する背景及び対象範囲	2
3. 大通り公園及び周辺地区の沿革	3
4. 大通り公園の概要	4
(1) 公園概要	4
(2) 公園施設等	7
5. 大通り公園の特性	10
(1) 立地特性	10
(2) 基本的性格	12
(3) 利用状況	15
6. 関内駅周辺地区の動向	17
7. 課題	19
(1) 公園利用者のマナー	19
(2) 公園の安全安心や美化	19
(3) 高木の巨木化・老朽化	20
(4) 公園愛護会の更なる活性化	20
(5) まちづくり方針と連動	21
(6) 公民連携（公共、民間、地域）による公園の魅力アップ	22
8. 将来像	23
9. 方針と施策	23
(1) 方針1	23
(2) 方針2	24
(3) 方針3	25
(4) ゾーニング図（イメージ）	26
10. プランの推進	28
(1) 推進体制（役割分担）	28
(2) PDCAサイクルによるプランの推進	29
11. （参考）関連する主な計画等	30
(1) 公園に関する計画等	30
(2) 地域に関する計画	33
(3) 参考文献	38
(4) 意見募集資料	39

1. パークマネジメントプランについて

(1) 背景・目的

パークマネジメントプランは、「横浜市水と緑の基本計画」(2016年6月)及び「公園における公民連携に関する基本方針」(2019年9月)に基づき、公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたり、公園の立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)となる皆様と共有するために策定するものです。

(2) 策定の進め方

ア 基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を、地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)の皆様と共有しながらプランを作成します。

イ 策定方法

共有方法として、ご意見の募集を行うことを標準とします。

大通り公園(1~3区)においては、第1回は「現状と課題」について、第2回は「将来像、方針、施策」(案)について、第3回は「プラン全体」(案)についてご意見を伺い、プランを策定していきます。なお、具体的な方法は公園により異なる場合があります。

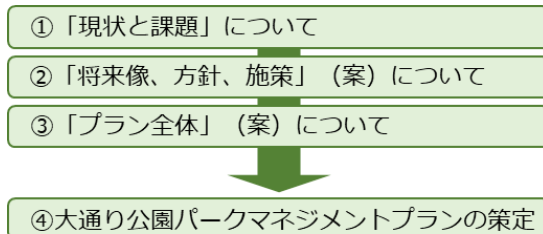


図) 大通り公園パークマネジメントプランの策定方法

(3) 計画期間

社会状況や課題等の変化を踏まえ、標準的な計画期間をおおむね10年間と設定します。

(4) プラン策定後の展開

プラン策定後は、プランに基づきサウンディング型市場調査や事業者公募等を進めます。

また、必要に応じて、イベント等による社会実験を通じて、具体的な課題を共有しながら事業化を推進します。

パークマネジメントプランに基づく施策を実施することで、「公園の魅力アップ」とともに「利用者の満足度向上」、「維持・管理の効率性向上」を目指します。

2. 大通り公園においてパークマネジメントプランを策定する背景及び対象範囲

プランの中心である「将来像」、「方針」及び「施策」については、1～3区を対象にしますが、「大通り公園の特性」や「大通り公園の概要」等については、公園全体（1～8区）を対象に記載しています。

大通り公園（1～3区）が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心であり、横浜の顔として長年にわたり市民に親しまれてきた地区です。

2020年6月の市庁舎移転を契機とした関内駅周辺地区の新しいまちづくりは、関内・関外地区をはじめとした今後の都心臨海部全体にとって非常に重要なものになります。

そのため、横浜市では、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、2020年1月、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定しました。

この方針を踏まえ、大通り公園では、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めて公園の魅力アップを目指していくこととしています。

以上を踏まえ、まずは1～3区を対象に検討を進めます。今後、大通り公園全体のパークマネジメントプランについても検討を進めていく予定です。



図) 大通り公園（1～3区）と関内駅周辺地区との関係



図) 大通り公園全体図

3. 大通り公園及び周辺地区の沿革

大通り公園は、運河の役目を終えた吉田川・新吉田川を埋め立て、つくられた公園で、1978年に横浜の六大事業の1つである都心部強化事業における「緑の軸線構想」の一環として整備されました。1999年からの再整備を経て現在の姿になりました。

都心部強化事業では、都心部の緑化を線的・面的に強化し、さらにそれらを結びつけることとし、関内地区においては、蒔田公園から横浜公園・日本大通り・山下公園を重点課題としていました。このため、大通り公園を中心とする緑の軸線が構想され、大通り公園の整備をはじめ、くすのき広場、都心プロムナード関内ルート等が計画・事業化され、変化に富んだ緑の都市軸として充実させてきました。

当初、公園の上部は高速道路が設置される案で都市計画決定されましたが、「街の顔とも言える伊勢佐木町や馬車道の門を高架が通ることによる関内・関外の街の分断」、「緑の軸線構想への支障」等により、飛鳥田市政のもと、高速道路のルートを再検討することとなりました。企画調整室が中心となり、道路局、計画局、県、首都高速道路公団、建設省、また同時期に大岡川や吉田川の埋立活用によるルート確保をほぼ確定していた市営地下鉄計画の交通局や運輸省と、費用や技術的課題などを1年間に渡って再調整しました。その結果、都心景観の保全と地域の一体化の観点から、高速道路は大岡川埋立による地下化+中村川上空の高架案、地下鉄は吉田川を埋立活用する形となり、大通り公園は地下鉄の通る吉田川の上部に設置され、「緑の軸線」を担う大きな公共空間としての現在の姿に至っています。

緑の軸線構想

都心部強化事業の中で構想されていたグリーンネットワークのうち、関内地区においては蒔田公園～横浜公園・日本大通り・山下公園を重点課題としていた。このため、既に運河の機能を失っていた吉田川・新吉田川を埋め立て帯状の新しい公園（大通り公園）を中心とする緑の軸線が構想された。これにより、関内デルタ地帯の一体的な発展を誘導するとともに、人間的都市空間という新しい横浜の街づくりの象徴となることが意図された。同じ六大事業の中でバッティングする高速道路計画に対しても緑の軸線が優先され、地下化・ルート選定がなされた。構想に基づき、のちにくすのき広場、都心プロムナード関内ルート、山下公園通り歩行者空間、開港広場等が計画・事業化され、変化に富んだ緑の都市軸として充実していった。



計画当初の緑の軸線構想と人造公園、山下公園から内陸部へ続く軸線（濃緑色）

図) 緑の軸線構想
(出典：都市デザイン横浜)

「緑の軸線」構想

都市の景観を整え、「みどり」と「うるおい」を与える街づくり、都市づくりを目的として、山下公園から日本大通り、横浜公園を経て、市庁舎（くすのき広場）をはさみ、大通り公園を通して蒔田公園に至る「みどりの軸線」構想が生まれ、ミナトヨコハマのイメージアップを図る。

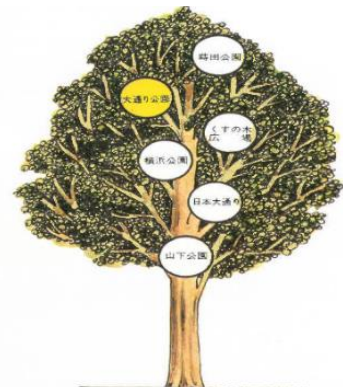


図) 「緑の軸線」構想
(出典：大通り公園パンフレット一部加工)

4. 大通り公園の概要

(1) 公園概要

大通り公園は、中区と南区にまたがり、全長は東西方向に約1.2km、幅員は南北方向に約30～40m、面積は3.57haの地区公園です。園内に大きな高低差は無く比較的平坦な形状です。道路により東西、8つのブロックに区切られ、管理運営上、関内駅側（東側）から1区と呼称し、阪東橋（西側）に至るまで全8区で構成されています。なお、1から5区は中区に含まれ、6から8区の一部は南区に含まれています。公園の南北も道路に接しているため、各区は道路で囲まれています。

表) 公園概要

項目	内容
名称	大通り公園
開園年	1978年
公園面積	<p>3.57ha（全長約1.2km）</p> <p>※管理運営上、関内側から1区と呼称し、阪東橋に至るまで全8区で構成されています。（平面図参照）</p> 
所有	横浜市（3.57ha）
所在地	中区長者町5丁目55-2
アクセス	<p>1・2区：JR線・市営地下鉄線「関内」駅より徒歩3分</p> <p>3・4区：市営地下鉄線「伊勢佐木長者町」駅直結、市営バス「伊勢佐木長者町駅前」バス停直結</p> <p>4区：伊勢佐木長者町地下駐車場の入庫口が近接</p> <p>4区：伊勢佐木長者町駅前第二自転車駐輪場が近接</p> <p>8区：市営地下鉄線「阪東橋」駅直結</p> <p>8区：首都高速神奈川3号狩場線「阪東橋」出入口が近接</p> <p>2・4・7・8区：ベイバイクのポートが近接等</p>

項目	内容
公園種別	地区公園
用途地域 (都市計画法)	商業地域
沿革(主な改修 を記載)	1978年 開園 1999年 石の広場改修 2000年 水の広場改修
管理形態	市直営管理(巡視、清掃、樹木管理、施設修繕は委託を実施。(清掃:毎日、トイレの開閉及び清掃:毎日、樹木管理及び大きな施設修繕:随時実施))

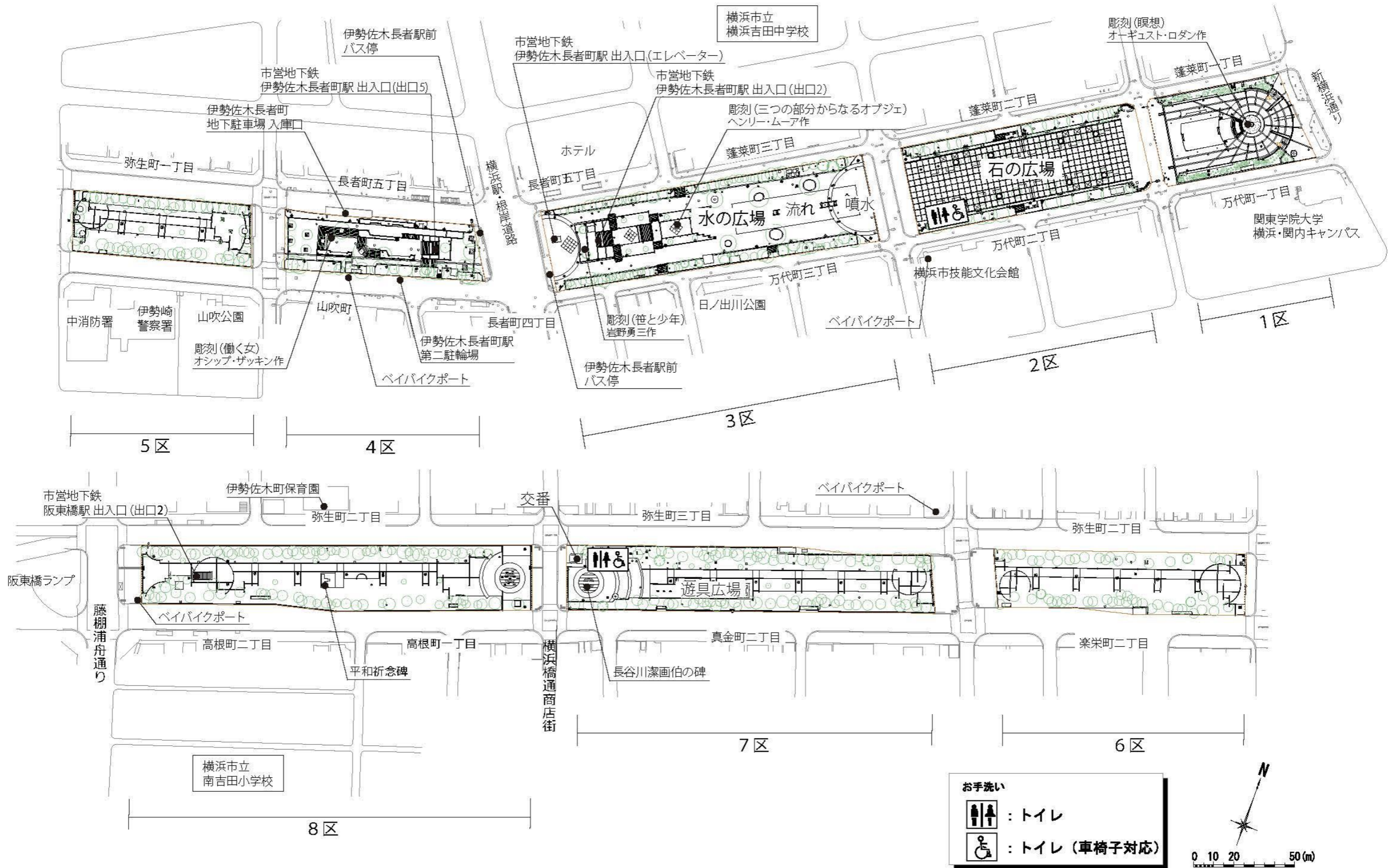


図) 平面図 (案内図)

大通り公園 案内図

【横浜市地形図複製承認番号 平18都第2719号】

【現状写真】



写真) 1区



写真) 2区



写真) 3区



写真) 4区



写真) 5区



写真) 6区



写真) 7区



写真) 8区

(2) 公園施設等

表) 公園施設

<p>主な公園施設</p>	<p>修景 流れ（噴水）【3区】 彫刻（瞑想、オーギュスト・ロダン作）【1区】 彫刻（三つの部分からなるオブジェ、ヘンリー・ムーア作）【3区】 彫刻（働く女、オシップ・ザッキン作）【4区】 彫刻（笹と少年、岩野勇三作）【3区】 長谷川潔画伯碑【7区】</p> <p>教養 平和祈念碑（横浜大空襲（1945年）の犠牲者の追悼）【8区】</p> <p>遊具 ブランコ【7区】、複合遊具【7区】 スプリング遊具（キリン、カバ）【7区】</p> <p>植栽 メタセコイア【2区】（11～12月頃に紅葉） バラ【1区、3区】（5月頃に赤色、桃色、黄色の花） モッコウバラ【1区】（5月頃黄色の花） 歌丸桜（紅枝垂れ桜）【7区】、オカメザクラ【3区～5区】（3月に濃桃色の花）、啓翁（けいおう）桜【5区】（3～4月頃薄桃色の花） ソメイヨシノ【5～7区】（3～4月頃に桃色の花） ヤマモモ【5区～8区】（6月頃赤色の実） ハナミズキ【5区】（4月頃白色の花） ノシバ【1区】（5～11月頃に緑の状態、冬季は枯れ茶色になる）</p>
<p>設備</p>	<p>電源設備（1区、2区）あり。（※イベント等での利用は調整が必要です）</p>
<p>その他</p>	<p>横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅出入口：3・4区 横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅出入口：8区 伊勢佐木長者町地下駐車場：4区に隣接して入庫口あり 伊勢佐木長者町駅前第二自転車駐輪場：4区付近にあり ベイバイクのポート：2・4・7・8区近辺にあり</p>

【公園施設写真】



三つの部分からなるオブジェ
(ハンリー・ムーア作)



瞑想
(オーギュスト・ロダン作)



働く女
(オシップ・ザッキン作)



筐と少年
(岩野勇三作)



長谷川潔画伯碑



平和祈念碑



流れ



複合遊具



スプリング遊具



歌丸桜

5. 大通り公園の特性

(1) 立地特性

大通り公園が位置する、関内・関外地区は、横浜開港以来、横浜の中心として港と共に発展を遂げてきており、港町ならではの歴史や文化が息づく、都心臨海部における大変重要な地区です。

周辺は、「吉田新田」を成り立ちとしているため低地が広がっており、園内も大きな高低差は無く比較的平坦な形状です。

周辺の用途地域は商業地域であり、周囲にはオフィス街が広がっている一方でマンションも立ち並んでいます。公園の外周の道路に隣接して、マンションやオフィスビルが主に存在し、その1階部分には飲食店などの店舗も見られます。

アクセスは、周囲に複数の公共交通機関の駅のほか、バス停、駐輪場、地下駐車場、高速道路のインターチェンジがあり、非常に良好です。JR線「関内」駅からは、新横浜通りを渡って公園の1区の入りに至ります。

周辺にある公園として、3区には日ノ出川公園、5区には山吹公園が近接するほか、新横浜通とJR線の東側には横浜公園が位置しています。

その他の公共施設等として、2区には横浜市技能文化会館が近接し、3区の1ブロック北側には横浜市立横浜吉田中学校が位置し、5区には伊勢佐木警察署と横浜市中消防署が近接しています。また、8区には伊勢佐木町保育園が近接するほか、2ブロック南側には横浜市立南吉田小学校が位置しています。

周辺には市内でも有名な商店街が存在し、7、8区の間南側には横浜橋通商店街の出入り口があり、公園の約300～400m北側には、伊勢佐木町の商店街（イセザキ・モール）が位置しています。

図) 関内・関外地区と大通り公園との関係



図) 公園周辺の施設等（横浜市 都市計画基本図より作成）

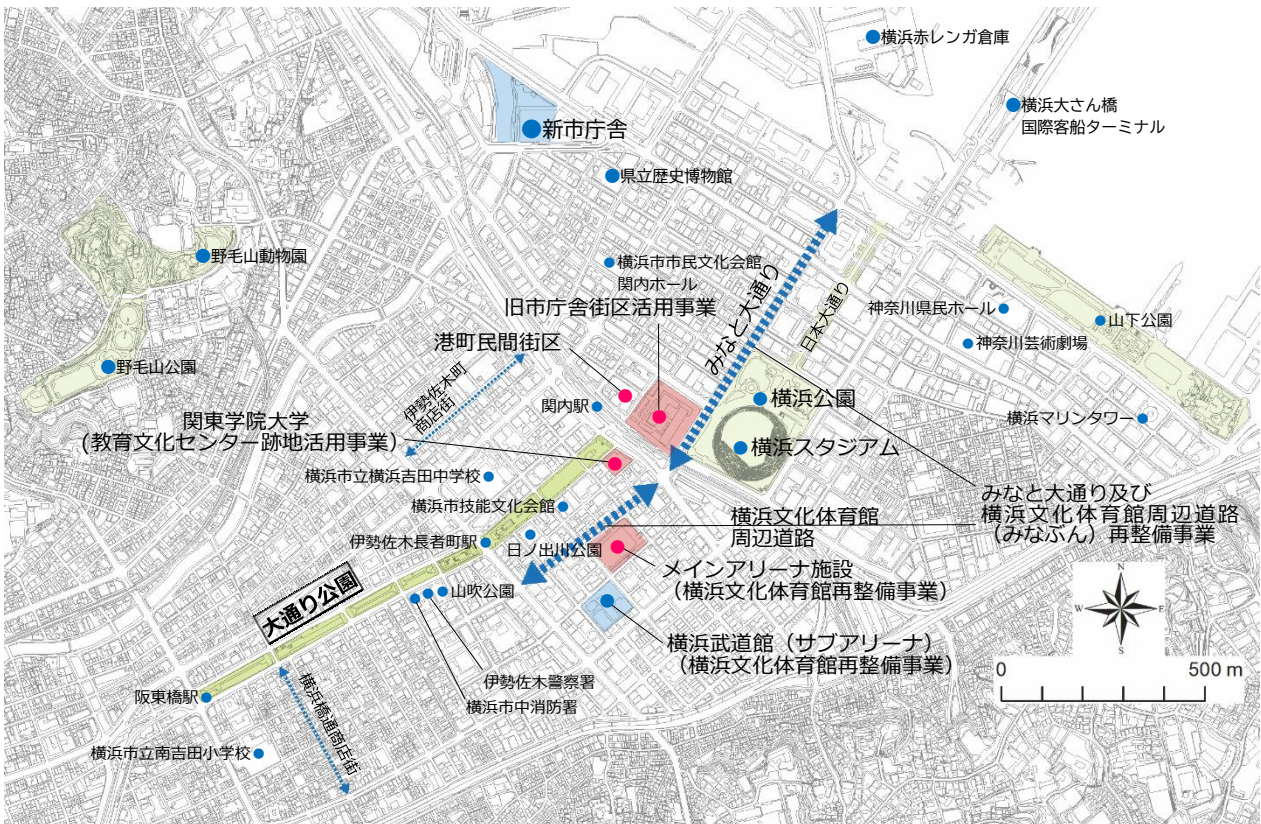


表) アクセス一覧

アクセス	1・2区：JR線・市営地下鉄線「関内」駅より徒歩3分 3・4区：市営地下鉄線「伊勢佐木長者町」駅直結、市営バス「伊勢佐木長者町駅前」バス停近接 4区：伊勢佐木長者町地下駐車場の入庫口が近接 4区：伊勢佐木長者町駅前第二自転車駐輪場が近接 8区：市営地下鉄線「阪東橋」駅直結 8区：首都高速神奈川3号狩場線「阪東橋」出入口が近接 2・4・7・8区：ベイバイクのポートが近接
------	---

(2) 基本的性格

ア 市街地の中の貴重な緑の軸線

成長した高木の並木及び芝生、バラ等の花やみどりは、市街地の中で自然を感じることが出来る貴重な要素であり、都心部の魅力を高める「緑の軸線」の中核を担っています。

1965年にスタートした「六大事業」に基づく「緑の軸線構想」は、都心部の緑化を線的・面的に強化し、さらにそれらを結びつけることとしています。それにより都市の景観にみどり、うるおい、品格を与え、人々の憩い、語らい、散策などが楽しめる人間中心のまちづくりが進み、誰でも住みたくする都市となることを目指したものです。

①自然環境面

「緑の軸線」を構成する高木の並木（1～3区クスノキ・ユリノキ、4～8区クスノキ、ケヤキ）は、大きく成長し、都心部における貴重な緑の自然環境となっています。緑陰により夏季の暑さ対策やヒートアイランド現象の緩和に寄与していると考えられます。4区以降は「みどりの森」として位置付けており、市街地の中で豊かな緑を感じる事の出来る空間となっています。

②景観面

「緑の軸線」を構成する高木の並木は、都市部の特徴ある景観であり、風格ある都市の景観を創り出しています。並木を主に構成するクスノキは、常緑樹であるので一年中緑の空間を提供しています。メタセコイアは、11～12月頃に紅葉し、冬の訪れを伝える景観となっています。5～7区にはソメイヨシノが、3区にはシダレザクラ、4・5区にはオカメザクラが植えられており、花見を楽しむことができます。

また、公園内にあるバラ花壇も5月頃の開花時期には公園利用者を楽しませており、公園の景観の創出において重要な役割を果たしています。

その他、公園内に横浜市営地下鉄の駅があるので、駅利用者の公園内を歩き交う姿が公園の景観の一部となっていることも特徴の1つです。

第1回意見募集結果より

1 公園の現状

○ 市街地の中の貴重な緑の軸線（3件）

- ・緑の軸線に位置づけられているとおり、緑が素晴らしい。（2件）
- ・住環境として公園の緑が見えるパークビューがあること自体に価値がある。

○ 今後の公園に求めるイメージ等

- ・四季の彩り鮮やかな花壇など、花がいっぱいの公園にして欲しい。

一方、成長した高木は、園内に暗い印象を与えたり、根による舗装のでこぼこ（根上がり）を生じさせたり、老朽化による倒木等、課題もあります。（詳細は「7. 課題」参照）

イ 賑わいの創出

1区の石のステージ、2区の石の広場、3区の水の広場では、これまでイベントで利用され、賑わいの創出に寄与してきました。現在は、イベント開催による新たな賑わい創出の可能性を検証しています。2017年からまちづくりの取組として、まちの賑わい創出を目的に、主に1区や2区で社会実験^{*}を実施しています。

2021年には公募型行為許可の試行実施により、1区の石のステージでキャンドルヨガが開催され、2022年からはヨガ等の公募を本格実施しています。



写真) 社会実験



写真) キャンドルヨガ

※都市整備局都心再生課による公共空間の活性化

「新市庁舎整備基本計画」（2014.3）に基づき、公園、道路などの公共施設や、建物の敷地や屋上などの公共的な空間などを有効活用し、賑わいを醸成する取組みを進めています。

大通り公園においては、まちの賑わい創出を目的に、2017年から主に1区や2区で社会実験を実施しており、2021年には「関内えきちか未来プロジェクト」として、関内駅周辺エリアにおいて、新たに創出される公共的空間や既存の公共的空間も含めて関内駅周辺エリアに関わる方々が思い描く「これからの関内駅前のパブリックスペースの”使い方”」を実際に実践しながら、より良い都市空間を創出していくための議論をしていくことを目的に取組を進めてきました。2022年も引き続き、大通り公園も舞台のひとつとして、ワークショップや社会実験などを展開していく予定としています。

【参考】公共空間の活性化について（都市整備局都心再生課ホームページ）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/toshin/genshichoshagaikutou/koukyou/kokyokukan.html>

ウ レクリエーションの場

公園全体を通じては、散歩、休息、花見などの利用が見られます。そのほか特徴として、近隣の保育施設により日常的に利用され、7区では遊具広場で子供達が遊んでいます。

エ 地域コミュニティの醸成

大通り公園では、公園愛護会活動、フリーマーケットなどのイベントが行われており、地域コミュニティの醸成の場となっています。

オ 文化・芸術に触れる場

ロダン、ムーア、ザッキン、岩野勇三、長谷川潔といった有名アーティストの彫刻や記念碑が点在しており、市民が気軽に文化・芸術に触れる機会を創出しています。（彫刻の詳細については「公園の概要」を参照）

カ 歴史の伝承

8区には、1945年の横浜大空襲の犠牲者を追悼するため、1992年に横浜市遺族会によって建立された平和祈念碑があり、毎年5月に犠牲者を追悼する催しが開催されています。歴史を後世に伝えるものになっています。

キ 地域特性に即した公園（地区公園）

身近な住民のイベント利用や、自然、歴史などの地域特性に即した公園です。

ク 防災・災害対応

横浜市防災計画等において、広域避難所等特別な指定はされていませんが、災害時には一時的な避難場所として利用されることを想定しています。

(3) 利用状況

ア 利用状況

大通り公園は東西方向に1.2kmと長い公園であるので、場所に応じて様々な利用がなされています。

主に、周囲にオフィス街があることや駅の出入口があることから、平日は周辺で働く社員の休息の場や通勤経路として利用されるほか、近隣の保育施設により日常的に利用され、7区では遊具広場で子供達が遊んでいます。土日は周辺の住民の方々の散歩や子どもの遊具遊びなど、地域の憩いの場として利用されています。そのほか、桜の開花時期は花見などの利用が見られます。

周辺地域は、市内でも居住総人口に対する外国人比率が高いエリアであるため、外国の方々の利用も見られます。

イベントでの利用もされており、フリーマーケット等が定期的に行われています。

また、8区にある平和祈念碑では毎年5月に横浜大空襲の犠牲者を追悼する方々が訪れます。

イ 団体の活動等の状況

① 公園愛護会

3区では、公園愛護会の方々により花壇等の手入れを行っています。

② ボランティアによる清掃活動

近隣事業者等のボランティア清掃が公園全域で実施されています。

第1回意見募集結果より

1 公園の現状

○ 公園愛護会の活動に感謝

- ・花壇に花を植え季節感を演出していただいている。
- ・公園愛護会のボランティアに感謝している。

○ 利用状況

- ・平日の朝夕は人々が通勤する経路、休日は親子連れが楽しそうに過ごす広場として利用されている。
- ・災害時（電車の停止時を含む）の避難に使用可能な空間。
- ・犬の散歩をしている人が多い。
- ・現在は人があまり歩いていない印象。
- ・現状は、公園内を通行するだけ。
- ・通路として活用されているため、滞在性が低い。
- ・以前、地域によりビアガーデンを実施していた。
- ・以前、水の広場は子どもが遊んでいた。
- ・夜にブランコを利用している人もいる。

○ その他

- ・今まで公園だと思わず、大通り公園という道路だと認識していた。
- ・全長1.2kmの公園のため、利用されていない状況はもったいない。
- ・35年前頃に比べれば、随分きれいになった。
- ・何も無い印象である。
- ・にぎわいが足りない。
- ・3区は噴水などバブル時代の公園の名残であるイメージ。
- ・関内駅前なので立地条件はとても良い。
- ・火を使ってはいけない制限がある。一方でキッチンカーは可能。

6. 関内駅周辺地区の動向

大通り公園が含まれる関内駅周辺地区の新しいまちづくりは、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積した賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針である「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」に基づき、連鎖的に大規模な土地利用転換が進められています。

横浜文化体育館再整備事業では、2020年7月に横浜武道館（サブアリーナ）が供用開始し、メインアリーナ施設は2024年4月の供用開始が予定されています。

教育文化センター跡地活用事業では、2023年4月に関東学院大学の新キャンパス（約3,300人の学生規模）の開校が予定されています。なお、低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープンが予定されています。

そのほか、旧市庁舎街区活用及び隣接した港町民間街区の再開発が予定されています。旧市庁舎街区活用事業は2025年下期の竣工、港町民間街区は2029年度の竣工が予定されています。

また、みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路（みなづん）において、安全で快適な歩行者ネットワークの強化・拡充を図り、沿道の連続的な賑わいの創出を目的に、再整備事業が進められています。

以上のように周辺地区の開発等によって、今後まちが大きく変わることが想定されます。



図) 大通り公園（1区～3区）と関内駅周辺地区の主な開発等

表) 関内駅周辺地区における主な開発等の予定周辺の動向

	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
横浜武道館 (サブアリーナ) (横浜文化体育館再整備事業)	→ 7月 供用									
メインアリーナ施設 (横浜文化体育館再整備事業)	→				→ 4月 供用 予定					
関東学院大学 (教育文化センター跡地活用事 業)	→		→ 低層部 開設 予定	→ 4月 開校 予定						
旧市庁舎活用事業	協定 締結	→				→ 竣工 予定				
関内駅前港町地区の再 開発 (港町民間街区)	協定 締結			都市計 画決定 予定	組合設 立認可 予定	建物解 体着工 予定				→ 竣工 予定

7. 課題

(1) 公園利用者のマナー

ゴミのポイ捨て、ハト・カラス等の野鳥へのエサやり、園内の自転車走行、夜間のスケートボードや騒音など、一部の公園利用者のマナーに低下が見られることが課題となっています。「汚い、立ち入りにくい印象」などの声が寄せられており、マナー向上のための取組が求められています。

また、日本語が不自由な方の利用もあるため、周知の方法も課題となっています。

第1回意見募集結果より	
2	公園の課題
○	一部の公園利用者のマナー
	<ul style="list-style-type: none">・公園利用者のマナー遵守が重要。・ポイ捨て等によるタバコの吸い殻や空き缶等のゴミが多く散乱しており、とても汚い。(8件)・ハトへの餌やりが多い。(5件)・ペットの糞が放置されていることが問題。(2件)・公園内を自転車で走行している方へのルール遵守。(2件)・喫煙者のマナーを改善して欲しい。周辺に喫煙所がないため、公園が利用されている面がある。(3件)・利用者の雰囲気等も立ち入りにくい印象。・夜間の球技やスケートボードの練習等は周辺住民の安眠を妨害することもあり、路面の材質や巡回パトロールなどの防止対策も検討が必要。(4件)・飲み会が開かれたり、飲酒し騒ぐ人がいるので、マナー改善してほしい。(3件)・夜間、飲酒し大声で騒いだり、若者が団体で音楽を流し踊ったり、騒音が気になる。(3件)・周辺住民のボランティア活動も是非生かして清掃頻度をUPしてほしい。

(2) 公園の安全安心や美化

「公園内は木が鬱蒼としており、死角が多い。」や「夜は暗く人通りも少ないため、女性の一人歩きなど不安がある」との声が寄せられており、安全安心に係る対応が求められています。

舗装面のでこぼこが生じているなど、車いす利用者や高齢者にとって通行しにくく、バリアフリーへの対応に課題があります。

ハト・カラスの糞の被害、一部の公園利用者によるゴミの放置など園内の清潔感に課題があり、トイレ等の公園施設については、毎日清掃しているものの常に清潔であるとは言えない点も課題に感じています。

また、「植栽管理の質の向上」、「植栽の統一感等」及び「花にあふれた空間」を求める声が寄せられており、植栽による美観創出が求められています。

第1回意見募集結果より

2 公園の課題

○ 公園の安全安心や美化

- ・夜は暗く人通りも少ないため、女性の一人歩きなど不安がある。(6件)
- ・ハトやカラスが多く、樹木周辺のベンチや水の広場の水辺等に糞の被害が多い。(5件)
- ・清潔感が不足している。(3件)
- ・「横浜の公園は管理が行き届いている」と思われるような公園であって欲しい。
- ・公園内は木が鬱蒼としており、死角が多い。
- ・路上生活者が多く、特定の場所を利用している。衛生面での不安、ゴミの放置やゴミからの火災などの多くの課題を感じている。(7件)

○ 公園の整備

- ・夜も明るく、安心して行き交うことが出来るよう街灯を設置して欲しい。(2件)
- ・石の広場の石畳がでこぼこでつまずきやすく危ない、車椅子利用者などが利用しやすいバリアフリーな環境となっていない場所がある。(3件)

○ 公園の管理

- ・植栽が枯れていたり、統一感や規則性がない。(2件)

○ 今後の公園に求めるイメージ等

- ・四季の彩り鮮やかな花壇など、花がいっぱいの公園にして欲しい。

(3) 高木の巨木化・老朽化

メタセコイアやユリノキなどの根による舗装のでこぼこ(根上がり)により歩きにくいことが課題としてあげられます。

道路沿いにクスノキ等の巨木が多く、見通しの確保、倒木時等の防犯・安全面に懸念があります。

また、高木の老朽化により、枝の落下や倒木等による事故の発生も懸念されます。

第1回意見募集結果より

2 公園の課題

○ 高木の巨木化・老朽化

- ・木々が大きくなりすぎて鬱蒼とした印象を受ける。美観や環境保全の為に整然とした樹木となると良い。(3件)
- ・根上がりによる道のデコボコが気になる。歩く人のためになっていない。

(4) 公園愛護会の更なる活性化

公園愛護会が献身的に活動していますが、担い手不足が課題となっています。

第1回意見募集結果より	
2	公園の課題
○	公園愛護会の更なる活性化
	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会会員を増やすためや活動を継続するためには、会員への特典や、支援策も含めて検討して下さるとなお願い（3件） 愛護会に協力していくことはあり得る。

(5) まちづくり方針と連動

公園の1～3区が対象となるまちづくりの方針である「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を踏まえ、街の賑わい創出につながるよう公園の魅力を高めることが求められます。

公園の魅力アップとして、「賑わいや滞在する空間の創出」を求める声が寄せられています。

大通り公園に関する記載 (関内駅周辺地区エリアコンセプトプランより抜粋)	
2	関内駅周辺地区の新たなまちづくり (P. 14)
(2)	関外側エリア
C	大通り公園
	<ul style="list-style-type: none"> 延長1.2キロメートルの緑の軸線をなす緑のオープンスペースであり、市民が憩いやすくなる公園です。石の広場では地元等のイベントのほか社会実験が実施されています。関東学院大学新キャンパスや横浜文化体育館の再整備などに関わる新たなプレーヤーによる活用等により、周辺環境とも協調しながら、街の賑わい創出につながるよう公園の魅力を高めます

第1回意見募集結果より	
2	公園の課題
○	公園の整備
	<ul style="list-style-type: none"> 通過するだけの公園であり、佇んだり、ゆっくりとくつろいだりするなど、滞在することができない。(2件) 椅子や座る場所、水飲みを作って欲しい。 時代のニーズに合わせて対応が可能なフレキシブルな施設が良い。 芝生等の広場も必要。 駅に近い1区から順に整備されると良い。 3区に強いデスティネーションが整備されれば、1、2区にも賑わいが生まれる。
○	今後の公園に求めるイメージ等
	<ul style="list-style-type: none"> 芝生広場の充実など、くつろげる憩いの場、居心地がよく、歩く楽しさのある場所が必要。 テーブルや椅子、キッチンカー（コンテナハウス）などイベントに対応でき、滞留できる空間づくりが必要。 清掃活動など、まちの問題解決に参加することで、まちがキレイになり、イメージが変わることを期待。 大学などの新しい人と地域の方々、若い世代と高齢者の共存など、多様性（ダイバーシティ）が必要な視点。 周辺と連携した賑わいと回遊性が重要で、線や面を意識して考えていくべき。

(6) 公民連携（公共、民間、地域）による公園の魅力アップ

「公園における公民連携に関する基本方針」に基づき、公園の魅力アップに向けて公園愛護会の活性化や、賑わいや滞在する空間の創出等の公園の魅力アップについて、公民連携の手法を生かしながら進める必要があります。

8. 将来像

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、
公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく安心して憩える
公園を目指します

9. 方針と施策

(1) 方針1

花や緑による「緑の軸線」の更なる魅力向上を目指します。

施策① 都心部の貴重な緑の空間として、街の美観向上と安全かつ明るく快適な歩行者空間を確保

- ・「緑の軸線」の主な構成要素である成長した高木について、老朽化や園内の暗さの要因になっているかなどの現状を踏まえ、必要に応じた一部整理や健全な育成を促す維持管理を行うことで、風格ある都市の景観の創出とともに明るく、快適で、安心安全な空間を確保していきます。
- ・樹木の根を要因とする舗装のでこぼこ（根上がり）について、歩きやすい歩行空間となるよう整備していきます。

施策② 花や緑による景観創出等により、緑の軸線の魅力が実感できる機会を更に創出

- ・「緑の軸線」の構成要素である花や芝生のクオリティやボリュームを高めることで魅力的な空間づくりを進めます。
- ・1区は「ウェルカムガーデンエリア」と位置付け、駅からの玄関口として花や緑による景観を整備するとともに、魅力的な見通し空間の創出を進めます。
- ・2区は「飲食を楽しめ、ゆったりとくつろげるエリア」と「イベントや賑わいにあふれるエリア」（一部）と位置付け、芝生広場等の整備を進めることで、緑を実感できる機会を創出します。
- ・3区は一部を「花木により駅からの導線を演出するエリア」と位置付け、沈床花壇では花壇や植栽等のリニューアルを進めます。

(2) 方針2

公民連携による賑わいの創出など、公園の魅力向上を目指します。

施策① 関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動し、回遊性等を向上

- ・関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン等の関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動し、街の賑わい創出や回遊性向上につながるよう公園の魅力を高めます。
- ・関内駅周辺地区の新たなまちのブランドの形成に向けた取組と連携していきます。

施策② 周辺の事業者等との連携により、公園利用者へのサービス向上につながる横浜らしい*新たな魅力や賑わいを創出

- ・Park-PFI 制度の活用を念頭にサウンディング型市場調査等の公民連携の手法により、周辺の事業者などの民間事業者等との連携を図り、人々がゆっくりくつろげるような滞留空間の整備や飲食機能の導入等を進めていきます。また、民間事業者や地域住民と連携を図りながら、公園の魅力アップにつながるイベントを実施していきます。
- ・イベントに適した広場や設備の確保なども想定しています。水の広場の流れについては、施設の見直しも含め検討を進めます。
- ・2区は「飲食を楽しめ、ゆったりとくつろげるエリア」と位置付け、芝生広場等の整備や飲食機能の導入を進めていきます。
- ・2区及び3区の水の広場を「イベントや賑わいにあふれるエリア」と位置付け、イベントや賑わいの創出を進めていきます。
- ・1～3区において、必要に応じ、周辺の事業者などの民間事業者等との連携を図り、公園利用者へのサービス向上につながる横浜らしい*新たな魅力や賑わいの創出を進めていきます。
- ・公園の整備等に当たっては、周辺公園との連携を検討していきます。

※「横浜らしい」とは、横浜市の様々な計画の最上位に位置付けられる「横浜市基本構想（長期ビジョン）」（2006年6月23日策定）、「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」（2015年2月策定）、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」（2020年1月策定）、「関内・関外地区活性化ビジョン」（2020年3月策定）に表現されていること、などとします。

施策③ 大通り公園から関内・関外エリアの活気と賑わいを創出し、持続可能な公園経営を推進

- ・周辺の事業者などの民間事業者等との連携を図り、周辺環境とも協調しながら、エリアの活気と賑わい創出等につながるよう公園の魅力を高めます。
- ・多様な主体が公園に関わることで、公園の整備や管理運営に関わる担い手が増え、持続可能な公園の経営につながることを目指します。

(3) 方針3

誰もが気持ちよく安心して憩える公園を目指します。

施策① 公園利用者のマナー向上や多言語化等の推進

- ・ゴミのポイ捨てなどに対するマナー向上を目指します。
植栽等の整備により、きれいでごみの捨てにくい雰囲気づくりを進めます。
- ・公園利用のルール周知について、サインの多言語化を進めるほか、イベント時の対応なども多言語化の検討をしていきます。
- ・関内駅周辺地区のまちづくりの進捗に伴い、想定される来街者の増加に対応するため、公園利用者のマナー向上やサインの多言語化等を進めていきます。

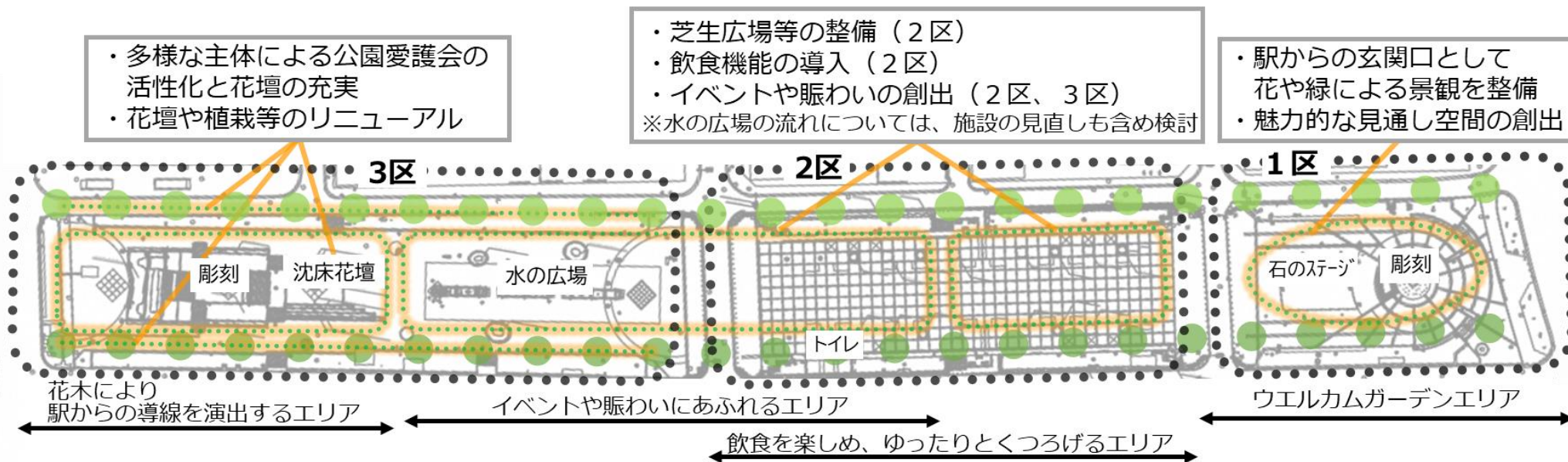
施策② 地域の歴史を大切に、市民の日常利用のため、バリアフリー化や防災の視点など誰もが使いやすく、きれいで安心・安全な公園づくりの推進

- ・公園利用者が安全かつ快適に公園を利用できるよう、防災に関する案内を含む、適切な運営管理や施設管理を行っていきます。
- ・トイレ、照明施設等については、計画的に維持管理水準や方法を見直し、必要に応じて改修を進めていきます。併せて、バリアフリー化していない施設についても計画的に改修していきます。
- ・舗装のでこぼこ（根上がり）について、歩きやすい歩行空間となるよう整備していきます。
- ・公園の整備に当たっては、「吉田新田」、「横浜大空襲」、「緑の軸線」、など大通り公園を含む地域の歴史の伝承にも配慮しながら進めます。

施策③ 公園愛護会の活性化をはじめ、地域との協働による公園活用等の推進

- ・現在、行っている公園愛護会による花壇管理や清掃などの活動について、さらに周辺事業者などの民間事業者等との連携等、活性化に向けた取組を進めます。
- ・公園愛護会の活動を通じて公園への愛着心を育てます。
- ・新たな公園の魅力向上につながる公園愛護会活動の展開を進めます。
- ・公園愛護会の活動は、大人から子供まで、地域住民や周辺の民間事業者、外国の方も含め、多様な方々が気軽に参加できるため、新たなつながりやつながりの強化が期待できます。そのため、地域のつながりを醸成するコミュニティの核となることを目指していきます。

(4) ゾーニング図 (イメージ)



※ゾーニング図 (イメージ) で示した内容のほか、将来像、方針、施策に基づく取組の検討や実施をしていきます。

【大通り公園の将来像 イメージパース】



図) 1区イメージパース
(ウェルカムガーデンと見通し空間)



図) 2区イメージパース (芝生広場と飲食機能)



図) 2区イメージパース (飲食機能)



図) 3区イメージパース (イベントの賑わい)

※図はイメージであり、実施されるものとは異なる場合があります。

10. プランの推進

(1) 推進体制（役割分担）

主体（担い手）	役割
横浜市 （南部公園緑地事務所都心部 公園担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・パークマネジメントプランに基づく具体的取組の実施 ・パークマネジメントプランの更新 ・公園の巡視、清掃、樹木管理等の日常管理 ・「民」同士の連携のマッチングや「民」による取組における公平性の担保などのコーディネート ・各ステークスホルダーと連携しながら公園経営を進めていく統括的な役割
公園愛護会	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇管理や清掃等の実施 ・活動を通じた公園への愛着心の醸成 ・新たな公園の魅力向上につながる活動の展開 ・地域コミュニティの核となる役割
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な発想やノウハウによる新たな価値の創造（例：公園ブランドの構築など） ・公園愛護会や周辺の事業者などの民間事業者等との連携等による公園の魅力アップ ・公民連携の手法による、滞留空間の整備や飲食機能の導入及びそれらの運営 ・地域住民と連携を図りながら、公園の魅力アップにつながるイベントの実施 ・街の活気と賑わい創出につながるような公園の魅力アップの実施 <p>（関内駅周辺地区の事業関係者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関内駅周辺地区エリアコンセプトプランに基づく取組のうちパークマネジメントプランに位置付けられた施策について、関係者と連携し実施

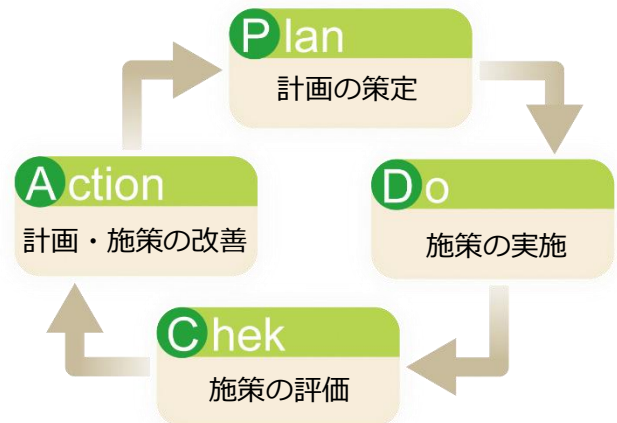
(2) PDCAサイクルによるプランの推進

パークマネジメントプランに基づいた施策の実施、成果の評価、評価に基づくプランや施策等の改善といった PDCA サイクルによる公園経営を進めます。

利用状況や利用者満足度の把握、関係部局への庁内ヒアリングなどを通じて、個々の施策の成果を検証や評価を行います。その結果に踏まえ、より効果的・効率的になるようプランや施策等を改善していきます。また、時代とともに変化していくニーズに対応しているかという視点でも検証や評価を行い、必要に応じ改善していきます。

個々の施策にPDCAサイクルを適用するとともに、個々の施策の集積が将来像に寄与したかなど、総合的な評価を行い、重層的なPDCAサイクルによる公園経営を目指します。

本パークマネジメントプランについては、適宜評価し、それ以降に検証や評価に基づく改善方策を検討し、次期プラン策定を進めることを予定しています。



11. (参考) 関連する主な計画等

(1) 公園に関する計画等

ア 横浜市水と緑の基本計画（2016年6月策定）

水と緑に関する基本理念と将来像を定め、それを実現するための推進計画や推進施策をまとめた計画です。横浜らしい魅力ある水と緑をまもり、つくり、育てるために、流域単位で取組をまとめるなど、水と緑を一体的にとらえた総合的な計画であることが特徴です。

基本理念として、「横浜らしい水・緑環境の実現」とし、市民・事業者・行政の連携・協働により実現していくこととします。また、本計画が目指す水と緑の目標像を「多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境」（目標年次：2025年）と示されています。

臨海部の公園に関しては、以下の通り示されています。

臨海部の公園に関連する記載 (横浜市水と緑の基本計画より抜粋)
第4章 水・緑環境の保全と創造の推進計画 (P.98) 2. 拠点となる水と緑、特徴ある水と緑をまもり・つくり・育てます (4)水と緑により都心臨海部の魅力づくりを進めます <p>多くの市民・観光客が訪れる都心臨海部において、周辺の山手の丘や野毛山・掃部山の丘、高島の丘を含め、豊かな水・緑環境の創出・充実を進めることで、風格があり魅力ある街並みを形成するとともに、都心臨海部の賑わいが創出されるよう、市民や事業者など様々な主体と連携し活用を推進します。また、全国都市緑化よこはまフェアの開催を一つの契機とし、花と緑にあふれる都心臨海部を市民とともにつくり、その取組を次の世代へ継承していきます。</p> <p><取組方針></p> <ul style="list-style-type: none">・都心臨海部の貴重な空間を効率的に活用し、魅力ある景観形成や臨海部の公園・緑化のネットワーク化など、地区の特性をいかした新たな水・緑環境を整備するとともに、既存施設についても、エリアの魅力向上につながるよう、緑あふれる空間づくりを進めます。・創出した緑が都心臨海部の魅力向上につながるよう、効果的な維持管理・活用を図り、民間事業者との新たな連携の形を検討します。

臨海部の公園に関する記載
(横浜市水と緑の基本計画より抜粋)



図) 都心臨海部及び周辺の水・緑づくり対象エリア (一部加工)

イ 公園における公民連携に関する基本方針 (2019年9月策定)

新たな公園の魅力と賑わいの創出に向け、公民連携の取組を推進することを位置付け、そのための基本的な考え方や具体的取組等を示しています。

公民連携の基本理念として、「多様な主体間の連携による公園の魅力アップ」とし、公園の魅力アップにより市民生活の質的向上と都市の持続可能な成長につなげ、更には「公園から」横浜のブランド力が向上することを目指すこととしています。

公民連携の具体的な取組やパークマネジメントプランに関しては、以下の通り示されています。

公民連携の具体的な取組やパークマネジメントプランに関する記載
(公園における公民連携に関する基本方針より抜粋)

II 今後の公園における公民連携の基本方針 (P. 20)

4. 公民連携の具体的な取組

大規模な公園においては、民間事業者等の利活用の意欲が高いことを踏まえ、パークマネジメントプラン等に基づいた公募型事業による魅力アップに取り組んでいきます。

★=新規、◎=拡充
下線=横浜市が先進的に取り組んできた公民連携施策の拡充

施策	取組	取組内容
施策1 パークマネジメントプラン等による公園の将来像の共有	★大規模な公園を中心としたパークマネジメントプランの策定	・都心臨海部の公園や郊外部の大規模公園など、各公園の特性を生かしながら策定 ・パークマネジメントプランを活用した評価の仕組みづくり
	★公園協議会制度の活用	・パークマネジメントプラン等と連携した設置・運用(協議事項例) ・公園のマネジメント方針等 ・公園ごとのローカルルール作り
施策3 公募型事業の展開や制度間の連携等の推進	★公募型事業の展開	・新設や再整備等を契機とした公募設置管理制度(Park-PFI)の実施 ・公募型設置管理許可制度の更なる展開 ・公益性を確保しつつ民間事業者等のアイデアを活用したイベント等を行うことができる公募型行為許可制度の創設

5. 取組の進め方と展開

(1) 総合的な施策の推進

公民連携の取組は、それぞれの施策の展開とともに、公園経営の視点に立って、総合的に進めていくことが重要となります。

例えば、施策3の公募型事業を展開するにあたっては、公園の将来像を共有化しながら進めることが必要であり、施策1のパークマネジメントプランに基づいて実施することで、公園経営の視点に立った総合的な取組が可能となります。

このため、施策の展開にあたっては、公園経営の俯瞰的な視点を持ってパークマネジメントプランによる目標像を共有しながら、それぞれの施策や事業の効果的な連携、更にはユニバーサルデザイン化の推進など、福祉やまちづくりといった地域課題や全市的な政策ニーズとの連携に十分配慮して進めていきます。

(2) PDCAサイクルを意識した取組

それぞれの取組において、個々の事例から得られたノウハウをもとに検証に努め、より効果的な展開につなげていきます。また、時代とともに変化していくニーズへの対応という視点で取組を評価し、必要な見直しを行っていきます。

こうした個々の取組にPDCAサイクルを適用していくことはもちろんのこと、パークマネジメントプランを策定した公園においては、個々の取組の集積がその公園の将来像に寄与したかなど、総合的な評価を行い、重層的なPDCAサイクルによる公園経営を目指します。

(2) 地域に関する計画

ア 関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン（2020年1月策定）

市庁舎移転を契機とした大規模土地利用転換を通じて、関内駅周辺地区全体に「国際的な産学連携」「観光・集客」機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区の新たなまちづくり方針として示すものです。

関内駅周辺地区のまちづくり方針として、『関内・関外地区の結節点でもあるこの地区で、連鎖的に行われる大規模土地利用転換を通じて、知と創造の活動の場を呼び込みます。地区内に新たな風を吹き込み、人が集まる魅力を高めることで、関内・関外地区の再生及び都心臨海部の活性化につなげていくため、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとし、業務・商業・居住・交流などの多様かつ魅力的な機能が近接したまちづくりを推進します。あわせて、来街者や住民が安心して楽しく歩ける「歩きやすい地区」となることを目指し、通り沿いに連続した賑わいの創出や歩行者目線の景観形成、駐車場設置の地区ルール、自動車流入の抑制などを進めます。』と示されています。

また、関外側エリアについては、『関内側エリアのまちづくりの動きとともに、教育文化センター跡地活用や横浜文化体育館の再整備を契機として、「国際的な産学連携」や「観光・集客」とスポーツ・健康が連携したまちづくりを行います。』と示されています。

大通り公園に関しては、「2 関内駅周辺地区の新たなまちづくり」の「(2) 関外側エリア」において、以下の通り示されています。

大通り公園に関する記載 (関内駅周辺地区エリアコンセプトプランより抜粋)	
2 関内駅周辺地区の新たなまちづくり (P. 14)	
(2) 関外側エリア	
	<ul style="list-style-type: none">・教育文化センター跡地活用では、関東学院大学のキャンパスに約3,300人の学生が通うことになり、その学生達が大通り公園を活用することで、日中の賑わいが形成されます。・横浜文化体育館の再整備においては、年間を通じてスポーツだけではなく、コンサート等のイベントも開催される予定であり、多くの集客が見込まれます。大通り公園の活用や既存商店街と連携することで来街者を街全体で受けとめ、回遊性を高めます。
C 大通り公園	
	<ul style="list-style-type: none">・延長1.2キロメートルの緑の軸線をなす緑のオープンスペースであり、市民が憩いやすくなる公園です。石の広場では地元等のイベントのほか社会実験が実施されています。関東学院大学新キャンパスや横浜文化体育館の再整備などに関わる新たなプレイヤーによる活用等により、周辺環境とも協調しながら、街の賑わい創出につながるよう公園の魅力を高めます

また、大通り公園を含めた地区全体のマネジメントに関しては、以下の通り示されています。

大通り公園を含めた地区全体のマネジメントに関する記載 (関内駅周辺地区エリアコンセプトプランより抜粋)
2 関内駅周辺地区の新たなまちづくり (P. 16) (4) 関内駅周辺地区のマネジメント 関内駅周辺地区では、現市庁舎街区活用事業、港町民間街区、教育文化センター跡地活用事業、横浜文化体育館再整備事業など、地区の大きな変化のきっかけとなる複数の事業が計画されています。これらの事業に関わる新たなプレイヤーと、すでに地域で活動している団体などがエリアマネジメントを通じて連携し、関内駅周辺地区の新たなまちのブランドを形成していきます。また、将来的には関内・関外地区内の他地区とも連携し、関内・関外地区全体を活性化させることが期待されています。

イ 関内・関外地区活性化ビジョン（2020年3月策定）

地域・事業者・行政等が市庁舎移転後の関内・関外地区の活性化に取り組むにあたり共有すべき方向性を、関内・関外地区活性化協議会と横浜市が協力してとりまとめたものです。

関内・関外地区の目指すべきまちの姿として、『「Baystock for Future 関内・関外」先人たちの息吹を感じながら いつも新しい何かが生まれ このまちで過ごす全ての人が 充実した時間を過ごしている』としており、まちづくりの方針として「①持続的な賑わいと活力づくり」、「②回遊性を高める基盤づくり」、「③誰もが安心できる環境づくり」と示されています。

関内・関外地区の公園に関連しては、以下の通り示されています。

関内・関外地区の公園に関する記載 (関内・関外地区活性化ビジョンより抜粋)
4 関内・関外地区のまちづくりの方針 (P. 60) (2) まちづくりの方針 ①持続的な賑わいと活力づくり 「方針」 港や歴史的な景観、古いものと新しいものが共存する文化・街並みなど地区が有する資源を生かしながら、人々を惹きつける新たなコンテンツの創出に取り組みます。その際には、地域としっかり連携を図りながら、公共空間などを存分に活用して、多くの人々の目に触れ、多くの人々の参加に繋がる取組とします。 「取組の方向性」 < I > 魅力あるコンテンツによるさらなる賑わいづくりの充実 ・公園や道路、河川・海上など公共空間を活用した公民連携によるイベント開催など、多彩な賑わいづくりをさらに推進することで、人が中心となり回遊して楽しめる魅力・活力のある関内・関外地区をつくり出します。

関内・関外地区の公園に関する記載
 (関内・関外地区活性化ビジョンより抜粋)

②回遊性を高める基盤づくり (P. 64)

《方針》

道路や河川、公園等の公共空間の活用による賑わいの形成も、回遊性の向上につながります。

《取組みの方向性》

< II > 人と車の空間再構築と公共空間の活用

- ・ 地区内にあるそれぞれの公共空間や公開空地等を、求められたニーズ等に応じて活用し、利便性の向上や賑わいの形成などに取り組みます。



図) 関内・関外地区の構造図

ウ 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン「中区まちづくり方針」(2020年3月策定)

横浜市都市計画マスタープランの「全体構想」を前提とした「地域別構想」です。おおむね20年後の中区の将来像を示すとともに、市民との協働でまちづくりを進めていく上での基本方針を示すものです。

中区のまちづくりの目標として、『住む人、働く人、訪れる人、誰もが居心地のよいみなとまち文化が根付いたまち・中区』と示されています。

公園に関しては、以下の通り示されています。

公園に関する記載

(横浜市都市計画マスタープラン 中区プラン「中区まちづくり方針」より抜粋)

1-3 まちづくりの目標 (P.53)

(3) 区の将来都市構造

② 水・花・緑・地域資源の考え方都市に潤いをもたらす大岡川、中村川、堀川、本牧通りのうち大岡川から中村川に至る部分及び大通り公園から日本大通りを經由して大さん橋に至る軸線を、水・花・緑の自然環境に親しめる「水・緑の軸（都市軸）」と位置付けます。

また、都市デザインによる創造性豊かな空間づくりを目指し、海沿いの「ウォーターフロント軸（都市軸）」及び海と陸側を結ぶ「水際線へと向かう軸（都市軸）」を設定し、「水・緑の軸（都市軸）」、「歴史・文化・緑の丘」とあわせて多くの人が親しみ、憩い、楽しめるよう、都市環境の充実を図ります。

このほか、良好で個性豊かな街並みや商店街を含め、水・花・緑などの豊かな都市環境や区内に点在する歴史的資源・文化遺構などを生かした回遊性の向上を図ります。

2-1 土地利用に関する方針 (P.55)

《方針》

(8) 都心臨海部公園緑地・港湾緑地系土地利用

水際の緑地・公園・オープンスペースは臨海部の大きな魅力であるため、貴重な地域資源として維持・保全を図ります。また、更なる都心部の魅力の創出に向けて、利活用を図ります。

2-3 コミュニティに関する方針 (P.64)

《方針1》人と人がつながる環境づくり

(2) 交流の場づくり

●新たな土地利用などの機会を捉え、身近な公園等の整備を進めるほか、公園等を地域活動や文化活動等の拠点として積極的に活用します。

2-6 都市の魅力・活力に関する方針 (P.83、84)

《方針3》花・緑・水を生かしたまちづくり

(1) 花や緑の維持保全と整備促進によるにぎわいの創出

●都心臨海部の公園などでは、花と緑の資源を生かした魅力的なにぎわいを創出します。

●区民や事業者が主体となった公園愛護会やハマロード・サポーターにより、公園や道路などの公共空間の花や緑を維持管理し、住宅などの民有地の緑化を促進することで、公開性や視認性の高い場所での緑化等による花や緑にあふれた豊かな都市空間の実現を目指します。

(2) 水辺を生かした魅力の向上

●水・緑の軸（都市軸）を花や緑などを適切な維持管理・活用により魅力ある空間とすることや、ウォーターフロント軸（都市軸）と水際線へと向かう軸（都市軸）においてオープンスペースの整備、歴史的建造物を中心とした街並み誘導などにより、みなとまち・横浜らしい魅力の顕在化を図ることで都心臨海部の回遊性を高め、関内・関外の持続可能なにぎわいの創出を進めます。

2-7 都市環境に関する方針 (P.87)

《方針1》豊かな生物多様性の実現に向けた水と緑の保全と創造

●魅力的な公園整備、施設の緑化の誘導・普及啓発、区民利用施設や学校、道路等の公共空間の緑化を進め、生物多様性の保全にも寄与する身近な緑を創出します。

●公園愛護会等地域と連携を図り、公園の維持管理や施設の改善等を進めます。

●水・緑の軸（都市軸）を中心に、まちなかのオープンスペース等への緑化や街路樹の適切な維持管理により、身近なところで四季折々の変化を感じられるような潤いと安らぎのある緑づくりを進めます。

公園に関する記載
(横浜市都市計画マスタープラン 中区プラン「中区まちづくり方針」より抜粋)

3-2 エリア別方針 (P.92、94、95)

(1) 関内・関外エリアのまちづくり

《背景》

◇市内外から多くの来街者が訪れる山下公園や象の鼻パークなどの臨海部の緑地のほか、日本大通り、横浜公園及び大通り公園がエリア内を縦断しており、これらの緑を生かしながら、各々の雰囲気に合わせてにぎわいを創出する取組が期待されます。

《方針2》人々の交流や回遊性を促すにぎわいのあるまちづくり

(1) 魅力ある地域資源を生かしたにぎわいづくり

●新たな魅力やにぎわいを創出し、持続可能なまちづくりを進めるため、公園や道路、港湾緑地、河川などの公共空間を公民連携で活用します。

(2) 魅力ある地域資源をつなげるまちづくり

●区民や来街者など誰もが文化施設や公園、商店街などの地域資源を回遊しやすく、魅力的な街並みなどを楽しめるよう、快適な歩行者ネットワークの充実を図ります。

●「第33回全国都市緑化よこはまフェア」(平成29(2017)年)の成果を継承・発展させ、花と緑あふれる「ガーデンシティ横浜」を推進します。横浜公園や日本大通りなどの公共施設を中心に緑と花にあふれた魅力的な空間を形成し、豊かな自然に触れながら回遊しやすいまちづくりを進めます。

●区民や来街者に親しまれ、魅力ある空間として水・緑の軸(都市軸)の形成を目指します。

エ 横浜市都市計画マスタープラン南区プラン「南区のまちづくり」(2019年2月策定)

横浜市都市計画マスタープランの「全体構想」を前提とした「地域別構想」です。おおむね20年後の南区の将来像を示すとともに、それを実現するためのまちづくりの基本的な方針を示すものです。

南区のまちづくりの将来像として、『人の情(こころ)と都市の機能が共に成熟したまち』と示されています。

南区の公園に関しては、以下の通り示されています。

公園に関する記載
(横浜市都市計画マスタープラン南区プラン「南区のまちづくり」より抜粋)

IV. まちづくりの方針 2. 都市防災の方針 (P.44)

(4) 防犯・交通安全対策

・夜間の明るさ確保のための防犯灯の充実、防犯に配慮した死角が少ない公園の環境づくりや住環境の改善、防犯に関する地域での取組に対する支援等、犯罪を抑止する環境づくりを、住民と協力しながら進めます。

公園に関する記載 (横浜市都市計画マスタープラン南区プラン「南区のまちづくり」より抜粋)	
IV. まちづくりの方針 4. 都市環境の方針 (P.52-53)	<p>(2) 身近な緑地の保全と緑化の推進</p> <p>② 公有地の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民利用施設や学校、道路や公園等の公共空間においては、花と緑の空間づくりを住民と協力して進め、緑化活動を広めていきます。 ・ 公園愛護会等の地域と連携をとりながら、公園の維持管理や施設の改善等を進めていきます。
IV. まちづくりの方針 5. 都市の魅力・活力の方針 (P.58-59)	<p>(2) にぎわいあるまちの環境づくり</p> <p>② 地域コミュニティの活動環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や道路の維持管理と魅力づくりを、公園愛護会、ハマロード・サポーター等と連携し進めていきます。また、区民参画により公園や地域の環境改善について検討し、誰もが共に過ごせ、より居心地がよく、にぎわいのある地域環境づくりにつなげていきます。

(3) 参考文献

- ・ 三木馨. 特集／六大事業の経過と今後の方向 10. 都心部再開発. (4) 都心部のなかの緑の軸線. 調査季報. 1971年, 28号, P. 93-104.
横浜市ホームページ: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shien/tyousakihou/28.html>
- ・ 田村明. 都市ヨコハマをつくる. 再版. 中央公論社. 1984年, P. 25-52.
- ・ 横浜都市デザイン50周年事業実行委員会、横浜市都市整備局. 都市デザイン 横浜 個性と魅力あるまちをつくる. BankART1929. 2022年, P. 161-163.

(4) 意見募集資料

① 第1回意見募集 (P1、4)

実証実験の経緯 大通り公園の活用について

実証実験とは…

関内駅周辺地区に位置する大通り公園(1区～3区)では、まちの賑わい創出を目的に、日常的な滞在環境づくりを中心とした様々な公園活用の検討や、実験的な取組を進めてきました。

実証実験の取組

大通り公園の自然等も利用しながら、椅子やテーブル等を置くことで公園に滞在しやすい環境づくりや、飲食物の提供や子ども向け企画を、周辺の事業者の方等と協力し、実施しました。
これらの取組によって、人がどのように滞留するかといった利用者の変化や公園に対するイメージの変化等を確認してきました。

平成29年 平成30年 令和1年 令和2年以降

● 大通り公園に、よみちしよう。 ● 大通り公園玉コロガシ@パークマネジメント ● その他のプロジェクト

今後も、新型コロナウイルス感染症対策等に取り組みながら、実証実験を通じて、周辺地域住民の皆様や民間事業者の方等の大通り公園活用の関心を高め、地域の魅力を高める取組をはじめとした活用のあり方を検討していきます。

大通り公園 (1区～3区) パークマネジメントプランの策定に向けた「現状と課題」について

地域の皆様からご意見を募集します

募集締切 令和3年3月5日(金)まで

大通り公園(1区～3区)が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン※」を策定しています。

大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めて公園の魅力アップを目指していくこととしています。



策定にあたり、大通り公園(1区～3区)の現状と課題の考え方を整理しましたので、皆様のご意見を募集します。
ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※関内駅周辺地区エリアコンセプトプランについては、横浜市ホームページに掲載しています。

関内 エリアコンセプトプラン

切り取り
郵便はがき

料金受取人私郵便
横浜港局 承認
7062

231-8790 005

横浜市中央区本町6丁目50番地の10
都市整備局都心再生部都心再生課
関内・関外地区担当 行

大通り公園(1区～3区)パークマネジメント プランについてご意見をお聞かせください。

募集締切 令和3年3月5日(金)まで

応募方法

次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。
①はがき(左のはがきを切り取り、ご使用ください。)(切手不要 当日消印有効)
②FAX：045-664-3551 都心再生課関内・関外地区担当
③電子メール：tb-machilab@city.yokohama.jp
④持参：受付時間 8時45分から17時まで(市庁舎29階)

お問合せ

◇パークマネジメントプランに関すること
横浜市環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当
電話番号：045-671-3648

◇実証実験及び関内駅周辺地区に関すること
横浜市都市整備局都心再生課 関内・関外地区担当
電話番号：045-671-3963

注意事項

- ・ご意見への個別の回答は行いません。また、ご意見を正確に把握する必要があるため、電話でのご意見の受付はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得した個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

あなたの情報をご記入ください

【属性】個人(住民)
事業者(従業員 約__名)

【年代】～20歳代 30歳代
40歳代 50歳代
60歳代 70歳代
80歳代以上

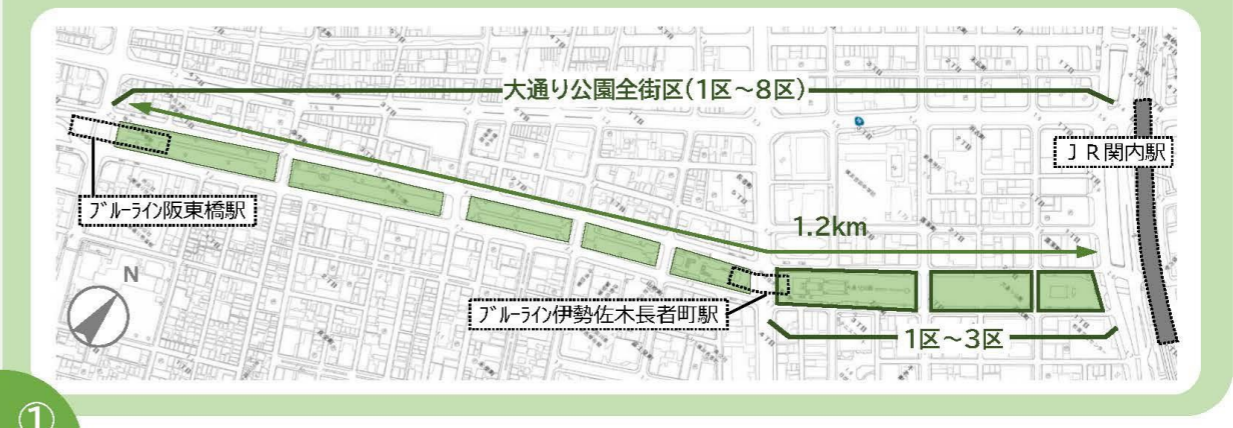
※個人とお答えの方は年代もご記入をお願いします。

大通り公園とは・・・

大通り公園は、延長1.2キロメートルの緑の軸線をなす緑のオープンスペースであり、市民が憩いやす公園です。石の広場等を含む1区～3区では、地元等のイベントのほか、まちの賑わい創出を目的に社会実験が実施されてきました。

①パークマネジメントプランの検討
⇒詳しくはP2～3をご覧ください。

②実証実験の取組
⇒詳しくはP4をご覧ください。



大通り公園 (1区~3区) パークマネジメントプランの策定に向けた「現状と課題」について

1.現状と課題

(1) 現状

公園の基本的性格

- ・市街地の中の貴重な緑の軸線
- ・地域特性に即した公園(地区公園)
- ・駅が近い立地を活かしたイベントでの利用
- ・地域の方々の散歩や休息などの利用が中心、通勤で通行する人も存在
- ・賑わいの創出に向けて多様な主体との連携を推進

周辺の動向

- ・大規模な土地利用転換(関東学院大学開校、横浜文化体育館(メインアリーナ施設)供用開始等)が進んでおり、大学の学生や、横浜文化体育館の利用者、旧市庁舎街区への来街者や就業者等、多様な利用が見込まれる。

時期	関内駅周辺地区の主な開発等の予定
2023年度	関東学院大学 新キャンパス開設(教育文化センター跡地) (低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープン)
2024年度	メインアリーナ施設 供用開始
2025年度	旧市庁舎街区 竣工予定(2025年下期)

立地特性

- ・JR根岸線と市営地下鉄を結ぶ主要な動線
- ・周辺は、主にオフィスとマンションが存在
- ・東西方向に全長約1.2km



(2) まちづくりの方針

(関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン参照)

- ・今後、関東学院大学新キャンパスや横浜文化体育館等の再整備に関わる新たな事業者や学生等による活用等により、周辺環境とも協調しながら、街の賑わい創出につながるよう公園の魅力を高めていきます。

(3) 公園の日常課題等

- ・ゴミのポイ捨てなど、一部の公園利用者のマナー
- ・高木の巨木化・老朽化
- ・公園愛護会の更なる活性化
- ・公民連携(公共、民間、地域)による公園の魅力アップ

3.策定の進め方

基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)の皆様と共有しながらプランを作成します。

策定の方法

ご意見の募集については、以下のとおり全3回程度の実施を予定しています。

- ①「現状と課題」について
- ②「将来像、方針、施策」(案)について
- ③「プラン全体」(案)について

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプランの策定

※まずは、1区~3区について検討を進めてまいります。今後、大通り公園全体のパークマネジメントプランについても検討を進めていく予定です。

2.パークマネジメントプランとは…

パークマネジメントプランの目的

公園の利活用にあたって、公園の立地環境等の特性や利用状況、公園の抱える課題を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)となる皆様と共有するために策定するものです。

記載項目(案)

パークマネジメントプランでは、以下の項目を記載します。

- ①公園の概要(公園の施設、立地特性、公園の基本的性格と現在の活用状況、公園の課題)
- ②目指すべき将来像
- ③方針と施策(公民連携、管理運営、維持管理、施設整備、ゾーン毎)
- ④計画の推進体制

ご意見をお聞かせください。

切り取り

大通り公園(1区~3区)について

募集締切 令和3年3月5日(金)まで

横浜市では、大通り公園(1区~3区)において、パークマネジメントプランの検討及び実証実験を実施しています。大通り公園(1区~3区)の現状と課題及びプラン策定の進め方についてご意見をお聞かせください。

② 第1回意見募集結果 (P1、4)

第1回意見募集結果
(今後の公園に求めるイメージ等)

「現状・課題」に関するご意見以外にも、今後の公園に求めるイメージや具体的なアイデアなどをいただきました。「将来像、方針、施策」(案)の検討の参考にさせていただきます。以下に一部をご紹介します。

○今後の公園に求めるイメージ等

- ・ 四季の彩り鮮やかな花壇など、花がいっぱいの公園にして欲しい。
- ・ 芝生広場の充実など、くつろげる憩いの場、居心地がよく、歩く楽しさのある場所が必要。
- ・ テーブルや椅子、キッチンカー(コンテナハウス)などイベントに対応でき、滞留できる空間づくりが必要。
- ・ 清掃活動など、まちの問題解決に参加することで、まちがキレイになり、イメージが変わることを期待。
- ・ 大学などの新しい人と地域の方々、若い世代と高齢者の共存など、多様性(ダイバーシティ)が必要な視点。
- ・ 周辺と連携した賑わいと回遊性が重要で、線や面を意識して考えていくべき。

大通り公園とは・・・

大通り公園は、延長1.2キロメートルの緑の軸線をなす緑のオープンスペースであり、市民が憩いくつろぐ公園です。石の広場等を含む1区～3区では、地元等のイベントのほか、まちの賑わい創出を目的に社会実験が実施されてきました。



周辺の動向

・大規模な土地利用転換(関東学院大学開校、横浜文化体育館(メインアリーナ施設)供用開始等)が進んでおり、大学の学生や、横浜文化体育館の利用者、旧市庁舎街区への来街者や就業者等、多様な利用が見込まれる。

時期	関内駅周辺地区の主な開発等の予定
2023年度	関東学院大学 新キャンパス開設(教育文化センター跡地) (低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープン)
2024年度	メインアリーナ施設 供用開始
2025年度	旧市庁舎街区 竣工予定(2025年下期)



お問い合わせ: 横浜市環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当
電話番号: 045-671-3648

大通り公園(1区～3区)

パークマネジメントプランの策定に向けた「現状と課題」について

第1回意見募集結果

パークマネジメントプランの策定
に向けて

大通り公園(1区～3区)が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン※」を策定しています。

大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めて公園の魅力アップを目指していくこととしています。

今回、大通り公園(1区～3区)の現状と課題について地域(町内会等)の皆様等からのご意見をいただきましたので、ご報告いたします。



※関内駅周辺地区エリアコンセプトプランについては、横浜市ホームページに掲載しています。

関内 エリアコンセプトプラン 🔍 検索

第1回意見募集結果の
概要について

「大通り公園(1区～3区)の現状と課題」について、意見募集を令和3年2月19日から3月5日まで実施したほか、関係団体等にヒアリングを行いました。多くの皆様からご意見をいただきました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

- ご意見把握方法
- ・ハガキ・メール: 22通
 - ・ヒアリング: 16者(関係団体、民間事業者等)

主なご意見	件数
公園の現状	22件
一部の公園利用者のマナー	33件
公園の安全安心や美化	23件
高木の巨木化・老朽化	4件
公園愛護会の更なる活性化	4件
公園の整備	12件
公園の管理	7件
その他	3件
今後の公園に求めるイメージ等	84件

大通り公園 (1区~3区) パークマネジメントプランの策定に向けた第1回意見募集結果 (現状と課題)

いただいた主なご意見

第1回意見募集での「現状・課題」に関する主なご意見をご紹介します。類似意見については、件数を()に表示しています。(順不同)

1 公園の現状

○ 市街地の中の貴重な緑の軸線(3件)

- ・ 緑の軸線に位置づけられているとおり、緑が素晴らしい。(2件)
- ・ 住環境として公園の緑が見えるパークビューがあること自体に価値がある。

○ 公園愛護会の活動に感謝(2件)

- ・ 花壇に花を植え季節感を演出していただいている。
- ・ 公園愛護会のボランティアに感謝している。

○ 利用状況(9件)

- ・ 平日の朝夕は人々が通勤する経路、休日は親子連れが楽しそうに過ごす広場として利用されている。
- ・ 災害時(電車の停止時を含む)の避難に使用可能な空間。
- ・ 犬の散歩をしている人が多い。
- ・ 現在は人があまり歩いていない印象。
- ・ 現状は、公園内を通行するだけ。
- ・ 通路として活用されているため、滞在性が低い。
- ・ 以前、地域によりピアガーデンを実施していた。
- ・ 以前、水の広場は子どもが遊んでいた。
- ・ 夜にブランコを利用している人もいる。

○ その他(8件)

- ・ 今まで公園だと思わず、大通り公園という道路だと認識していた。
- ・ 全長1.2kmの公園のため、利用されていない状況はもったいない。
- ・ 35年前頃に比べれば、随分きれいになった。
- ・ 何もない印象である。
- ・ にぎわいが足りない。
- ・ 3区は噴水などバブル時代の公園の名残であるイメージ。
- ・ 関内駅前なので立地条件はとて良い。
- ・ 火を使ってはいけない制限がある。一方でキッチンカーは可能。

2 公園の課題

○ 一部の公園利用者のマナー(33件)

- ・ 公園利用者のマナー遵守が重要。
- ・ ポイ捨て等によるタバコの吸い殻や空き缶等のゴミが多く散乱しており、とても汚い。(8件)
- ・ ハトへの餌やりが多い。(5件)
- ・ ペットの糞が放置されていることが問題。(2件)
- ・ 公園内を自転車で走行している方へのルール遵守。(2件)
- ・ 喫煙者のマナーを改善して欲しい。周辺に喫煙所がないため、公園が利用されている面がある。(3件)
- ・ 利用者の雰囲気等も立ち入りにくい印象。
- ・ 夜間の球技やスケートボードの練習等は周辺住民の安眠を妨害することもあり、路面の材質や巡回パトロールなどの防止対策も検討が必要。(4件)
- ・ 飲み会が開かれたり、飲酒し騒ぐ人がいるので、マナー改善してほしい。(3件)
- ・ 夜間、飲酒し大声で騒いだり、若者が団体で音楽を流し踊ったり、騒音が気になる。(3件)
- ・ 周辺住民のボランティア活動も是非生かして清掃頻度をUPしてほしい。

○ 公園の安全安心や美化(23件)

- ・ 夜は暗く人通りも少ないため、女性の一人歩きなど不安がある。(6件)
- ・ ハトやカラスが多く、樹木周辺のベンチや水の広場の水辺等に糞の被害が多い。(5件)
- ・ 清潔感が不足している。(3件)
- ・ 「横浜の公園は管理が行き届いている」と思われるような公園であって欲しい。
- ・ 公園内は木が鬱蒼としており、死角が多い。
- ・ 路上生活者が多く、特定の場所を利用している。衛生面での不安、ゴミの放置やゴミからの火災などの多くの課題を感じている。(7件)

○ 高木の巨木化・老朽化(4件)

- ・ 木々が大きくなりすぎて鬱蒼とした印象を受ける。美観や環境保全の為に整然とした樹木となると良い。(3件)
- ・ 根上がりによる道のデコボコが気になる。歩く人のためになっていない。

○ 公園愛護会の更なる活性化(4件)

- ・ 公園愛護会会員を増やすためや活動を継続するためには、会員への特典や、支援策も含めて検討して下さるとなお良い(3件)
- ・ 愛護会に協力していくことはあり得る。

○ 公園の整備(12件)

- ・ 夜も明るく、安心して行き交うことが出来るよう街灯を設置して欲しい。(2件)
- ・ 石の広場の石畳がでこぼこでつまづきやすく危ない、車椅子利用者などが利用しやすいバリアフリーな環境となっていない場所がある。(3件)
- ・ 通過するだけの公園であり、佇んだり、ゆっくりとくつろいだりするなど、滞在することができない。(2件)
- ・ 椅子や座る場所、水飲みを作って欲しい。
- ・ 時代のニーズに合わせて対応が可能なフレキシブルな施設が良い。
- ・ 芝生等の広場も必要。
- ・ 駅に近い1区から順に整備されると良い。
- ・ 3区に強いデスティネーションが整備されれば、1、2区にも賑わいが生まれる。

○ 公園の管理(7件)

- ・ 植栽が枯れていたり、統一感や規則性がない。(2件)
- ・ 公園の落葉を掃除する送風機の騒音が気になる。
- ・ 木や枯れ葉が風により、駅の中に入り込んでいる。
- ・ 頑丈なゴミ箱設置を強く希望、分別ゴミ箱を数カ所に設置して欲しい。
- ・ 公園に管理する人が常駐すると良い。(2件)

3 その他

- ・ 1区前(公園~関内駅ガード)の横断歩道の歩行者信号は、青信号の時間が他の箇所と比べても短いため、調査をして改善して欲しい。
- ・ 地下鉄ブルーラインの駅構内が老朽化している。
- ・ 大通り公園は、河川の埋め立て地のため、地盤がゆるいことが想定される。
- ・ 関東学院大学とアリーナあわせて8,500人。南口交差点の混雑が予想される。

公園に関する様々なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見は、今後のプランの策定に活用させていただきます。

策定の進め方

基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)の皆様と共有しながらプランを作成します。

策定の方法

ご意見の募集については、以下のとおり全3回程度の実施を予定しています。

今回は、【①「現状と課題」について】に関して、ご意見をいただきました。今後、②及び③についてもご意見を伺い、今年度中にプラン策定を予定しています。

※まずは、1区~3区について検討を進めてまいります。今後、大通り公園全体のパークマネジメントプランについても検討を進めていく予定です。

①「現状と課題」について

←今回実施

②「将来像、方針、施策」(案)について

③「プラン全体」(案)について

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプランの策定

② ③

パークマネジメントプランとは…

パークマネジメントプランの目的

公園の利活用にあたって、公園の立地環境等の特性や利用状況、公園の抱える課題を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)となる皆様と共有するために策定するものです。

記載項目(案)

パークマネジメントプランでは、以下の項目を記載します。

- ①公園の概要
(公園の施設、立地特性、公園の基本的性格と現在の活用状況、公園の課題)
- ②目指すべき将来像
- ③方針と施策
(公民連携、管理運営、維持管理、施設整備、ゾーン毎)
- ④計画の推進体制

③ 第2回意見募集 (P1、4)

周辺の動向

・大規模な土地利用転換(関東学院大学開校、横浜文化体育館(メインアリーナ施設)供用開始等)が進んでおり、学生や、利用者、就業者等、多様な利用が見込まれます。

時期	関内駅周辺地区の主な開発等の予定
2023年度	関東学院大学新キャンパス開設(教育文化センター跡地) (低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープン)
2024年度	メインアリーナ施設 供用開始(横浜文化体育館再整備事業)
2025年度	旧市庁舎街区竣工予定(2025年下期)

竣工イメージ(メインアリーナ施設)

竣工イメージ(関東学院大学新キャンパス)

大通り公園(1区~3区)案内図

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプランの「将来像・方針・施策」(案)について

第2回意見募集

パークマネジメントプランの策定に向けて

大通り公園(1区~3区)が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン※」を策定しています。

大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めた公園の魅力アップを目指していくこととしています。

このたび、前回皆様にごいただきました「現状と課題」へのご意見を踏まえ、大通り公園(1区~3区)のパークマネジメントプランの「将来像・方針・施策」(案)を作成しましたので、改めて皆様のご意見を募集します。

ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



※関内駅周辺地区エリアコンセプトプランについては、横浜市ホームページに掲載しています。

関内 エリアコンセプトプラン 検索

切り取り郵便はがき

料金を取人払郵便

横浜港局承認

7062

231-0005

005

差出有効期間 令和3年3月31日まで (切手不要)

横浜市中区本町6丁目50番地の10
環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当 行

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプランの「将来像・方針・施策」(案)について
ご意見をお聞かせください。
募集締切 令和4年3月18日(金)まで

応募方法

次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

①はがき(左のはがきを切り取り、ご使用ください。)
(切手不要 当日消印有効)

②FAX: 045-550-3917 南部公園緑地事務所 都心部公園担当あて

③電子メール: ks-toshinbukanni@city.yokohama.jp

④持参: 受付時間 8時45分から17時まで(市庁舎27階)

お問合せ

◇パークマネジメントプランに関すること
横浜市環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当
電話番号: 045-671-3648

◇関内駅周辺地区に関すること
横浜市都市整備局都心再生課 関内・関外地区担当
電話番号: 045-671-3963

注意事項

・ご意見への個別の回答は行いません。また、ご意見を正確に把握する必要があるため、電話でのご意見の受付はいたしません。

・ご意見の提出に伴い取得した個人情報(「横浜市個人情報の保護に関する条例」に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。



属性と年代をご記入ください

【属性】個人(住民)
その他(事業者等)

【年代】~20歳代 30歳代
40歳代 50歳代
60歳代 70歳代
80歳代以上

※その他とお答えの方は年代のご記入は不要です。

パークマネジメントプランとは…

パークマネジメントプランの目的

公園の利活用にあたって、公園の立地環境等の特性や利用状況、公園の抱える課題を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)となる皆様と共有するために策定するものです。

記載項目(案)

パークマネジメントプランでは、以下の項目を記載します。

①公園の概要
(公園の施設、立地特性、公園の基本的性格と現在の活用状況、公園の課題)

②目指すべき将来像

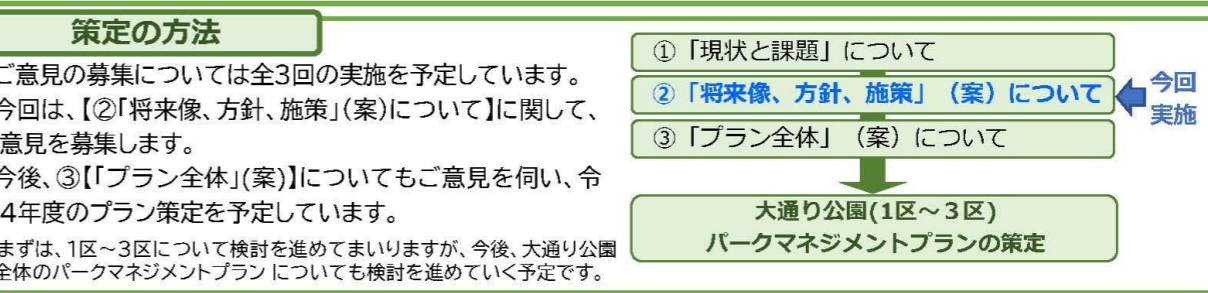
③方針と施策(公民連携、管理運営、維持管理、施設整備、ゾーン毎)

④計画の推進体制

策定の進め方

基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)の皆様と共有しながらプランを作成します。



大通り公園 (1区~3区) パークマネジメントプランの将来像・方針・施策 (案) について

第1回意見募集でいただいた「現状・課題」に関するご意見を踏まえ、将来像・方針・施策(案)を整理しました。

公園の現状	
市街地の中の貴重な緑の軸線 (3件)	・緑の軸線に位置づけられているとおり、緑が素晴らしい。(2件)
公園愛護会の活動に感謝 (2件)	・花壇に花を植え季節感を演出していただいている。 ・公園愛護会のボランティアに感謝している。
利用状況 (9件)	・通路として活用されているため、滞在性が低い。
その他 (8件)	・にぎわいが足りない。 ・3区は噴水などバブル時代の公園の名残であるイメージ。
公園の課題	
一部の公園利用者のマナー (33件)	・ポイ捨て等によるタバコの吸い殻や空き缶等のゴミが多く散乱しており、とても汚い。(8件) ・公園内を自転車で走行している方へのルール遵守。(2件)
公園の安全安心や美化 (23件)	・清潔感が不足している。(3件)
高木の巨木化・老朽化 (4件)	・木々が大きくなりすぎて鬱蒼とした印象を受ける。美観や環境保全の為に整然とした樹木となると良い。(3件)
公園愛護会の更なる活性化 (4件)	
公園の整備 (12件)	・通過するだけの公園であり、佇んだり、ゆっくりとくつろいだりするなど、滞在することができない。(2件) ・芝生等の広場も必要。
公園の管理 (7件)	・植栽が枯れていたり、統一感や規則性がない。(2件)

対応する方針・施策(案)

●方針1 (案)
「緑の軸線」の花や緑による
更なる魅力向上を目指します。

施策 (案)
・都心部の貴重な緑の空間として、街の美観向上と明るく快適な歩行者空間を確保
・緑の軸線の魅力を、花や緑による景観創出等により実感できる機会を更に創出

●方針2 (案)
公民連携による賑わいの創出など、公園として魅力アップを目指します。

施策 (案)
・関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動
・周辺の事業者等との連携により、公園利用者へのサービス向上につながる新たな魅力や賑わいを創出
・大通り公園から関内・関外エリアの活気と賑わいを創出し、持続可能な公園経営を推進

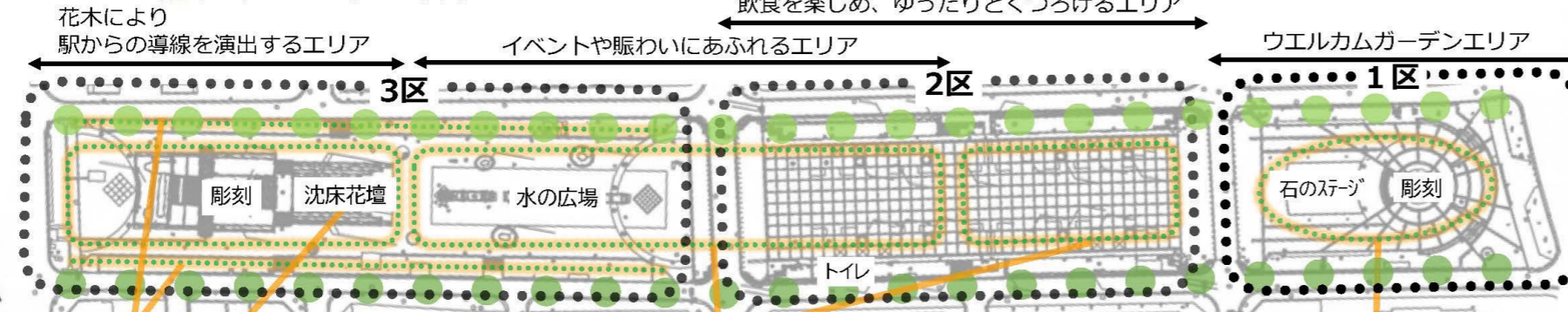
●方針3 (案)
誰もが気持ちよく憩える公園を目指します。

施策 (案)
・公園利用者のマナー向上や多言語化等の推進
・地域の歴史を大切に、バリアフリー化など誰もが使いやすく、きれいで安心・安全な公園づくりの推進
・公園愛護会の活性化をはじめ、地域との協働による公園活用等の推進

将来像 (案)

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく憩える公園を目指します

< 大通り公園の将来像 (案) ゾーニング図 >



・多様な主体による公園愛護会の活性化と花壇の充実
・花壇や植栽等のリニューアル

・芝生広場等の整備 (2区)
・飲食機能の導入 (2区)
・イベントや賑わいの創出 (2区、3区)
※水の広場の流れについては、施設の見直しも含め検討

・駅からの玄関口として花や緑による景観を整備
・魅力的な見通し空間の創出

○1~3区全域等に係る内容

・高木の一部整理により、明るく、快適で、安心安全な空間の確保
・周辺公園との連携を推進

今後の事業の進め方

必要に応じて、イベント等による社会実験を通じて、具体的な課題を共有しながら事業化を推進します。

ご意見をお聞かせください。

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプランの「将来像・方針・施策」(案)について

募集締切 令和4年3月18日(金)まで

パークマネジメントプランの「将来像・方針・施策」(案)についてご意見をお聞かせください。

④ 第3回意見募集 (P1、4)

パークマネジメントプランとは…

パークマネジメントプランの目的

公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたって、公園の立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)となる皆様と共有するために策定するものです。

記載項目

パークマネジメントプランでは、以下の項目を記載します。

- ①公園について
(沿革、立地特性、基本的性格、利用状況、公園施設等、課題)
- ②目指すべき将来像
- ③方針と施策
- ④プランの推進体制

策定の進め方

基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手(関係団体、民間事業者等)の皆様と共有しながらプランを作成します。

策定の方法と今後の予定

今回は、③「プラン【全体版】・【概要版】」(案)についてご意見を伺います。

④プラン策定後は、プランに基づき⑤サウンディングや事業者公募を行う予定です。また、必要に応じて、イベント等による社会実験を通じて、具体的な課題を共有しながら事業化を推進します。

※まずは、1区～3区について検討を進めてまいります。今後、大通り公園全体のパークマネジメントプランについても検討を進めていく予定です。

- ①「現状と課題」について
- ②「将来像・方針・施策」(案)について
- ③「プラン【全体版】・【概要版】」(案)について ← 今回実施
- ④大通り公園(1区～3区)パークマネジメントプランの策定
- ⑤サウンディング・公募実施(予定)

大通り公園(1区～3区)パークマネジメントプラン(案)について

第3回意見募集

パークマネジメントプランの策定に向けて

大通り公園(1区～3区)が位置している関内駅周辺地区は、開港以来、横浜の発展をけん引してきた関内・関外地区の中心です。横浜市では、令和2年6月の市庁舎移転を契機として「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとした機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指し、この地区のまちづくり方針として、「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定しています。

大通り公園においては、この方針を踏まえ、公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めることで、公園の抱える課題の解決を含めた公園の魅力アップを目指していくこととしています。

このたび、前回皆様にいただきました「将来像・方針・施策」(案)へのご意見を踏まえ、大通り公園(1区～3区)のパークマネジメントプランの【全体版】及び【概要版】(※当パンフレット)の案を作成しました。今回はこの2つについてご意見をお伺いします。ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

関内駅周辺地区



横浜市ホームページに掲載しています。

- 大通り公園(1区～3区)パークマネジメントプラン【全体版】(案)
- 関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン

切り取り
郵便はがき

料金を受取人払郵便

横浜港局 承認
8308

231-8790 005

差出有効期間
令和4年9月30日まで
(切手不要)

横浜市中区本町6丁目50番地の10
環境創造局 南部公園緑地事務所
都心部公園担当 行

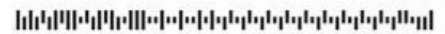
大通り公園(1区～3区)パークマネジメントプラン(案)について
ご意見をお聞かせください。
募集締切 令和4年7月31日(日)まで

- 応募方法**
- 次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。
- ①はがき(左のはがきを切り取り、ご使用ください。)(切手不要 当日消印有効)
 - ②FAX : 045-550-3917 南部公園緑地事務所 都心部公園担当
 - ③電子メール : ks-toshinbukanri@city.yokohama.jp
 - ④持参 : 受付時間 8時45分から17時まで(市庁舎27階)

- お問合せ**
- ◇パークマネジメントプランに関すること
横浜市環境創造局 南部公園緑地事務所 都心部公園担当
電話番号 : 045-671-3648
 - ◇関内駅周辺地区に関すること
横浜市都市整備局都心再生課 関内・関外地区担当
電話番号 : 045-671-3963

注意事項

- ・ご意見への個別の回答は行いません。また、ご意見を正確に把握するため、電話でのご意見の受付はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得した個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。



属性と年代をご記入ください

【属性】個人(住民)
その他(事業者等)

【年代】～20歳代 30歳代
40歳代 50歳代
60歳代 70歳代
80歳代以上

※その他とお答えの方は年代のご記入は不要です。

第2回意見募集実施結果について

「将来像・方針・施策」(案)について、令和4年3月1日～3月18日に第2回意見募集を実施しました。

実施結果	
意見の件数	186件
内容内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像・方針全般に関する意見 6件 ・方針・施策(案)に関する意見 157件 <ul style="list-style-type: none"> 方針1 「緑の軸線」の花や緑による更なる魅力向上を目指します。 30件 方針2 公民連携による賑わいの創出など、公園として魅力アップを目指します。 62件 方針3 誰もが気持ちよく憩える公園を目指します。 65件 ・将来像・方針等以外の意見 23件
ご意見の分類	
「将来像・方針・施策」(案)へ賛同いただいたご意見(同趣旨又は評価をいただいたものを含む)	94件
「将来像・方針・施策」(案)へ参考にするご意見	81件
その他の意見	11件

周辺の動向

・大規模な土地利用転換(関東学院大学開校、横浜文化体育館(メインアリーナ施設)供用開始等)が進んでおり、学生や、利用者、就業者等、多様な利用が見込まれます。

時期	関内駅周辺地区の主な開発等の予定
2023年度	関東学院大学 新キャンパス開設 (教育文化センター跡地) (低層部の市民開放エリアは2022年内に順次オープン)
2024年度	メインアリーナ施設 供用開始 (横浜文化体育館再整備事業)
2025年度	旧市庁舎街区 竣工予定(2025年下期)

第2回意見募集でいただいた「将来像・方針・施策」(案)に関する
代表的なご意見

全体に対するご意見

- ・方針1~3はとてすばらしいと思います。

方針1 (案)

- ・高木の整備についてはやった方が良く思う。みどりは大切であるが、鬱蒼としてしまっているため、枝の剪定を行うと明るくなり、カラスなどの鳥が減ると思う。
- ・大通り公園の2区の根上りは高齢者には歩いていて危険。木の下ではなく、公園の真ん中を歩かなければならない。
- ・芝生広場があると魅力的な公園になるのではないだろうか。
- ・ウェルカムガーデンエリアの花壇はきれいな状態をキープできる管理手法を併せて検討すべきです。

方針2 (案)

- ・「緑とにぎわいの軸線」を作るため、周辺の施設等と連携し一体的に賑わい、回遊性を高めるイベントを実施していくことが重要。
- ・横浜らしい文化や芸術のイベントを開催することにより、様々な世代やバックグラウンドの方と交流する場としたい。
- ・学生や働く人がお弁当を食べられるようなキッチンカー等の移動施設が良い。

方針3 (案)

- ・山下公園、赤レンガとは異なる観光客だけではなく市民向けの市民のためのキレイな公園になってもらいたいと思います。
- ・花壇は市民が参加できるスペースがあると、参加者も増えるだろうし良いのではないかと健康というキーワードもよいと思う。
- ・大反対。①うるさい、②ゴミがでる、③治安が悪くなる。
- ・流れは管理が難しいのでいらないと思います。
- ・水は癒しがあるのでは、水遊びをやる場所も近くにはない。親子連れで水遊びをする光景は癒しの場になっている印象も受ける。

大通り公園 (1区~3区) パークマネジメントプラン【概要版】(案)について

将来像

関内・関外地区の緑の軸線として、花や緑による魅力向上、公民連携による賑わい創出により、誰もが気持ちよく憩える公園を目指します

●方針1

「緑の軸線」の花や緑による
更なる魅力向上を目指します。

施策

- ・都心部の貴重な緑の空間として、街の美観向上と安全かつ明るく快適な歩行者空間を確保
- ・緑の軸線の魅力を、花や緑による景観創出等により実感できる機会を更に創出

●方針2

公民連携による賑わいの創出など、
公園として魅力アップを目指します。

施策

- ・関内駅周辺地区のまちづくり計画と連動
- ・周辺の事業者等との連携により、公園利用者へのサービス向上につながる横浜らしい新たな魅力や賑わいを創出
- ・大通り公園から関内・関外エリアの活気と賑わいを創出し、持続可能な公園経営を推進

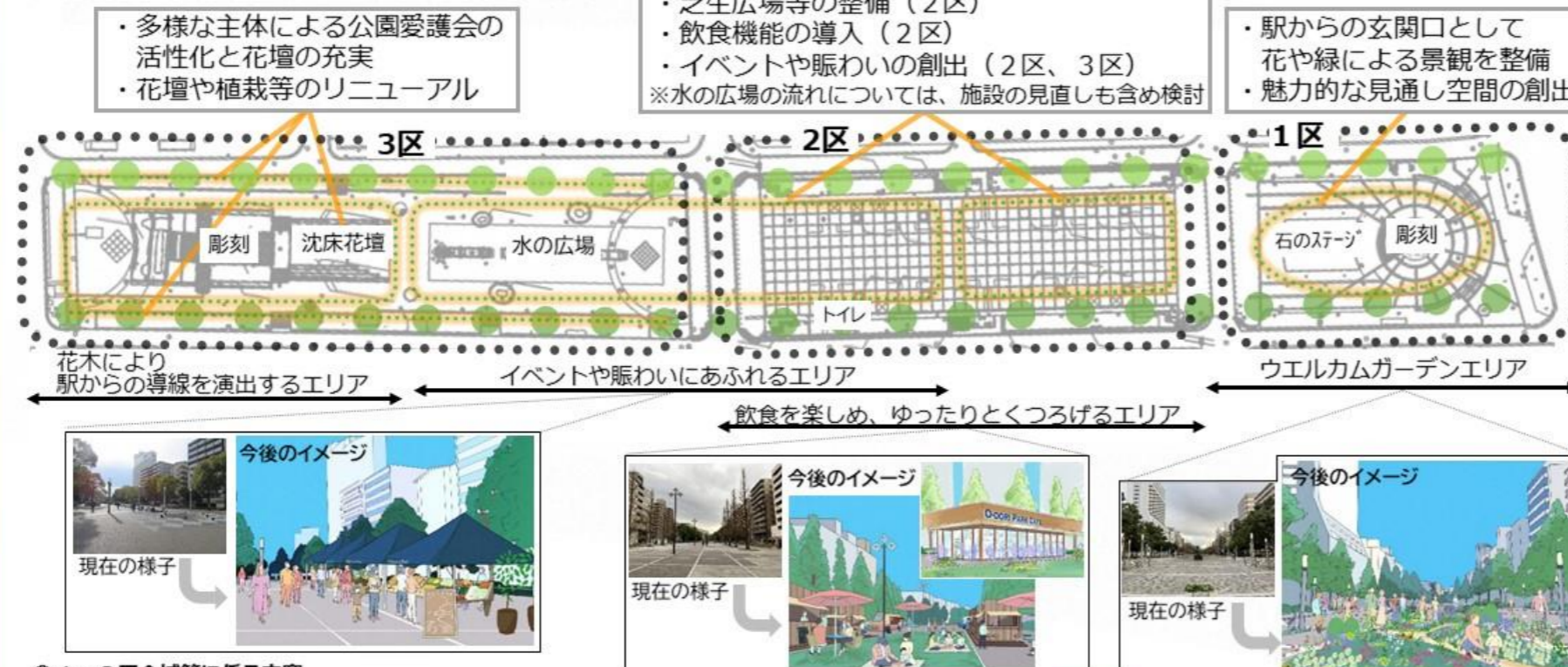
●方針3

誰もが気持ちよく憩える公園
を目指します。

施策

- ・公園利用者のマナー向上や多言語化等の推進
- ・地域の歴史を大切に、市民の日常利用のため、バリアフリー化など誰もが使いやすい、きれいで安心・安全な公園づくりの推進
- ・公園愛護会の活性化をはじめ、地域との協働による公園活用等の推進

< 大通り公園の将来像 ソーニング図 (イメージ) >



○ 1~3区全域等に係る内容

- ・高木の一部整理により、明るく、快適で、安心安全な空間の確保
- ・周辺公園との連携を推進

※ソーニング図で示した内容のほか、将来像、方針、施策に基づく取組の検討や実施をしていきます。

ご意見をお聞かせください。

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプラン(案)についてご意見をお聞かせください。

募集締切 令和4年7月31日(日)まで

※プラン【全体版】(案)は市HPに掲載しています。全体版の概要を記した【概要版】(案)は当パンフレットになります。

大通り公園(1区~3区)パークマネジメントプラン【全体版】(案)

大通り公園 PMP

検索